

データヘルス計画

第2期計画書

最終更新日：平成30年10月03日

酒フォーズ健康保険組合

STEP 1-1 基本情報

組合コード	23351
組合名称	酒フーズ健康保険組合
形態	総合
業種	卸売業

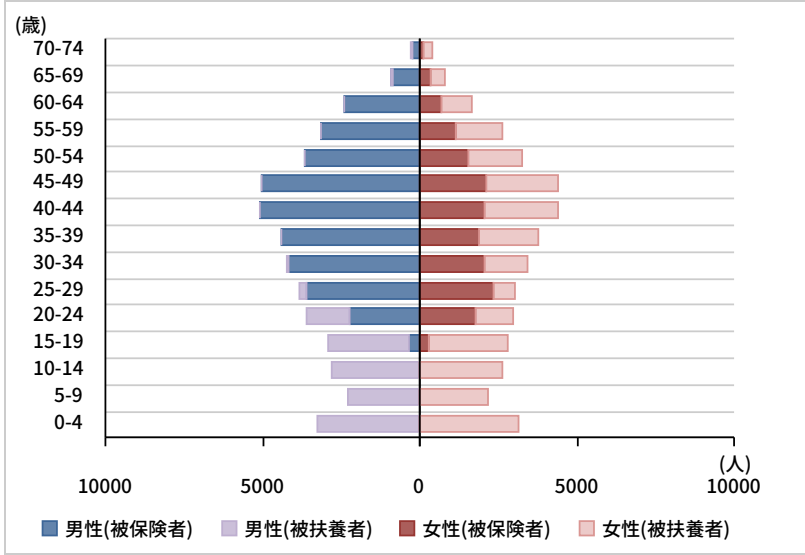
	平成30年度見込み	令和元年度見込み	令和2年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保険者を除く	51,450名 男性69.0% (平均年齢42.36歳) * 女性31.0% (平均年齢39.55歳) *	52,830名 男性67.8% (平均年齢42.49歳) * 女性32.2% (平均年齢39.7歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保険者数	0名	0名	-名
加入者数	89,339名	90,477名	-名
適用事業所数	488カ所	476カ所	-カ所
対象となる拠点数	488カ所	476カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	97%o	97%o	-%o

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	1	3	1	2	-	-
	保健師等	7	0	7	0	-	-
事業主	産業医	0	0	0	0	-	-
	保健師等	0	0	0	0	-	-

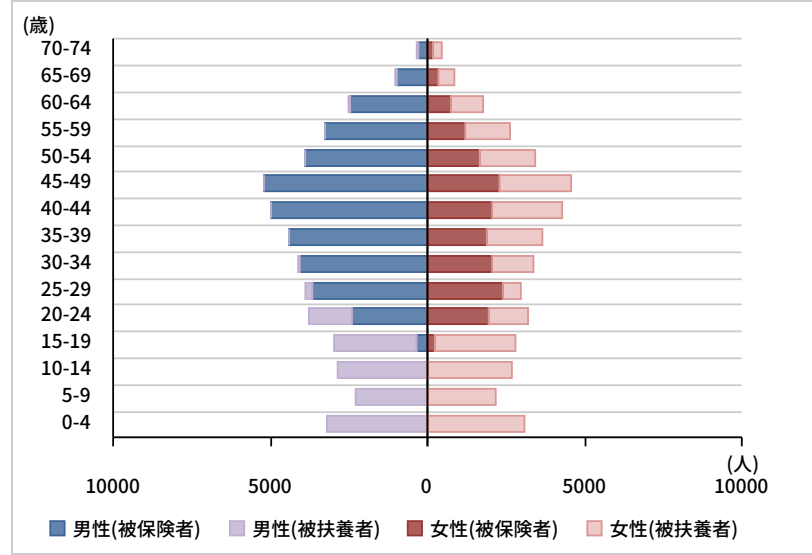
		第2期における基礎数値	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数： 特定健康診査対象者数)	全体	27,630 / 35,978 = 76.8 %	
	被保険者	24,016 / 26,414 = 90.9 %	
	被扶養者	3,614 / 9,564 = 37.8 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数： 特定保健指導対象者数)	全体	514 / 5,555 = 9.3 %	
	被保険者	496 / 5,284 = 9.4 %	
	被扶養者	18 / 271 = 6.6 %	

		平成30年度見込み		令和元年度見込み		令和2年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	162,091	3,150	185,153	3,505	-	-
	特定保健指導事業費	15,120	294	8,993	170	-	-
	保健指導宣伝費	72,747	1,414	70,657	1,337	-	-
	疾病予防費	748,754	14,553	760,512	14,395	-	-
	体育奨励費	14,856	289	12,865	244	-	-
	直営保養所費	0	0	0	0	-	-
	その他	46,350	901	40,169	760	-	-
	小計 …a	1,059,918	20,601	1,078,349	20,412	0	-
	経常支出合計 …b	24,432,606	474,881	23,889,080	452,188	-	-
	a/b×100 (%)	4.34		4.51		-	

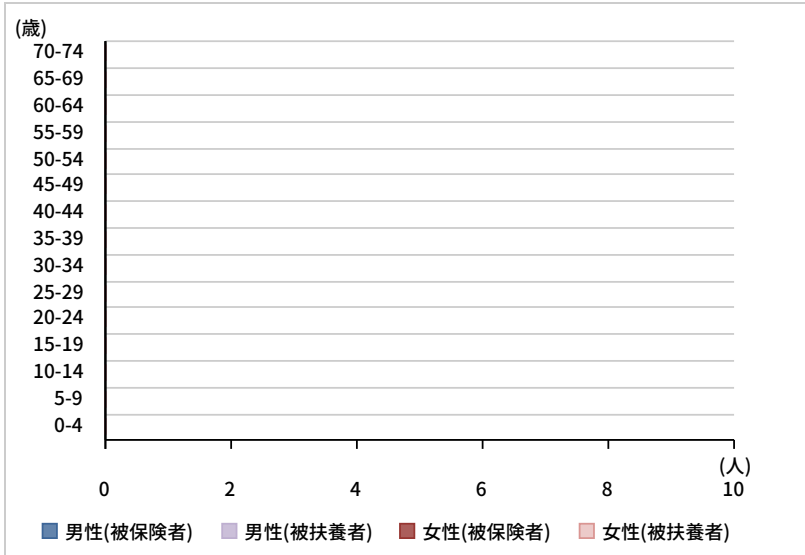
平成30年度見込み



令和元年度見込み



令和2年度見込み



男性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	333人	10～14	0人	15～19	337人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	2,217人	25～29	3,593人	20～24	2,393人	25～29	3,629人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	4,158人	35～39	4,428人	30～34	4,038人	35～39	4,417人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	5,087人	45～49	5,035人	40～44	4,993人	45～49	5,199人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	3,665人	55～59	3,155人	50～54	3,901人	55～59	3,247人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	2,424人	65～69	886人	60～64	2,440人	65～69	950人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	231人			70～74	268人			70～74	-人		

女性（被保険者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	267人	10～14	0人	15～19	256人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,766人	25～29	2,315人	20～24	1,937人	25～29	2,424人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	2,052人	35～39	1,886人	30～34	2,035人	35～39	1,880人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,076人	45～49	2,095人	40～44	2,060人	45～49	2,313人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,515人	55～59	1,116人	50～54	1,675人	55～59	1,212人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	695人	65～69	334人	60～64	724人	65～69	342人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	121人			70～74	160人			70～74	-人		

男性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	3,253人	5～9	2,262人	0～4	3,186人	5～9	2,307人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	2,796人	15～19	2,568人	10～14	2,842人	15～19	2,611人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,360人	25～29	223人	20～24	1,372人	25～29	208人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	75人	35～39	24人	30～34	79人	35～39	25人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	11人	45～49	13人	40～44	16人	45～49	18人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	16人	55～59	17人	50～54	21人	55～59	17人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	28人	65～69	40人	60～64	31人	65～69	36人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	37人			70～74	31人			70～74	-人		

女性（被扶養者）

平成30年度見込み				令和元年度見込み				令和2年度見込み			
0～4	3,170人	5～9	2,157人	0～4	3,086人	5～9	2,170人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	2,622人	15～19	2,517人	10～14	2,675人	15～19	2,552人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1,204人	25～29	682人	20～24	1,243人	25～29	582人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1,395人	35～39	1,860人	30～34	1,306人	35～39	1,758人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2,347人	45～49	2,278人	40～44	2,218人	45～49	2,276人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	1,725人	55～59	1,474人	50～54	1,759人	55～59	1,426人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	969人	65～69	484人	60～64	1,010人	65～69	500人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	282人			70～74	286人			70～74	-人		

基本情報から見える特徴

- 1.大規模な健保組合(被保険者数51,000人、加入者数90,000人強)である。
- 2.事業主の拠点及び加入者が全国に点在している。
- 3.被保険者の男女比が7:3である。
- 4.40歳代の加入者が多い。

STEP 1-2 保健事業の実施状況

保健事業の整理から見える特徴

特定保健指導、重症化予防対策、その他保健指導および栄養指導については数値で効果測定ができています。HP、機関誌を上記事業の広報媒体として利用できればさらに成果が上げられそうだ。推進委員会や事業所側代表が集まる機会で見聞を積極的にアピールしてコラボレーションヘルスを進めたい。一方で、自己管理にすぐれ生産性の高い集団への評価ができていない。インセンティブ導入なども検討課題である。

事業の一覧

職場環境の整備	
加入者への意識づけ	
保健指導宣伝	機関紙（けんぼとあなた）
個別の事業	
特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者・被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	健康保険専門誌
保健指導宣伝	健康関連パンフレット
保健指導宣伝	算定基礎説明会並びに健康教育講座
保健指導宣伝	事務講習会
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品通知
保健指導宣伝	健康管理事業推進委員会
疾病予防	重症化予防対策
疾病予防	保健指導及び栄養指導
疾病予防	ファミリー健康相談
疾病予防	メンタルヘルスカウンセリング
疾病予防	生活習慣病予防健診 Aコース
疾病予防	生活習慣病予防健診 Bコース
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診 Cコース
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳検査
疾病予防	インフルエンザ予防接種
体育奨励	けんぼウォーキング
体育奨励	スマホウォーキング
体育奨励	野球大会
体育奨励	テニス講習会
体育奨励	フィットネスクラブ
その他	契約保養所
その他	大宮運動場
事業主の取組	
1	定期健康診断
2	産業医の設置状況の把握

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2)評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備													
加入者への意識づけ													
保健指導宣伝	5	機関紙(けんぼとあなた)	【目的】情報発信、健康意識の醸成、健康保険の制度や医療保険に係る情報提供、特定健診の案内 【概要】機関紙を発行し、被保険者の自宅に郵送(年4回)	被保険者	全て	男女	15～74	全員	29,475	【実施状況】 機関紙(けんぼとあなた)を作成し、被保険者の自宅に郵送 【実施時期】 4、6、10、1月	・健康保険制度の内容、法改正、事務手続き、各事業の案内等タイムリーに情報提供 ・予算、決算等組合の現状を掲載することで、健康への意識付けを推進 ・被保険者の自宅に郵送することで被扶養者等へ周知できている	・発行月に合わせた内容のタイムリーな記事を掲載する ・自宅配送のため経費がかかる	4
個別の事業													
特定健康診査事業	3	特定健康診査(被保険者・被扶養者)	【目的】メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者と予備軍の減少 【概要】健保連・東振協及び契約医療機関等で実施	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	全員	141,027	【実施状況】 受診者数 28,044名 実施率 72.9% 【実施時期】 通年	・全国で受診可能な健診機関と提携することで受診機会を増やした ・保健指導での訪問時に担当者に健診受診の必要性を説明した	・加入者及び事業主に対して健診の重要性の理解を求める広報を行なう必要がある ・被扶養者の受診率向上を図る必要がある	4
特定保健指導事業	2,4,7	特定保健指導	【目的】メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)該当者と予備群の減少 【概要】事業所訪問、当組合健康管理センター、東振協契約健診機関及び契約医療機関で実施	被保険者被扶養者	全て	男女	40～74	基準該当者	15,120	【28年度実施状況】 ・動機付け支援 利用人数358人 利用率17.1% 実施人数379人 実施率18.1% ・積極的支援 利用人数608人 利用率17.6% 実施人数135名 実施率 3.9% 【実施時期】 通年	・当組合保健師及び管理栄養士による事業所訪問を拡充した。また、フェイススクールを用いた簡易な評価シートの導入で返信率が向上した。 ・特定保健指導対象者予備軍といえる若年者から保健指導を行い意識づけを徹底した。	・事業所側産業保健スタッフとの連携。労務管理的には特定保健指導のポイント制にこだわらない面談を実施しているケースもある。	3
保健指導宣伝	2	医療費通知	【目的】医療費の有効利用と適正化 【概要】世帯分全ての受診記録とその医療費の実態の通知書を被保険者の自宅に郵送	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	13,485	【実施状況】 医療費通知を作成し被保険者の自宅に郵送 14,895世帯 【時期】2月	・総医療費、自己負担を把握することによる医療費の適正化	・医療費通知の様式変更(医療費控除対応)	3
	-	ホームページ	【目的】情報発信、健康意識の醸成 【概要】ホームページ開設・運営(健保の運営、収支、健康診断、健康情報及び公示)	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	全員	907	【実施状況】 毎月更新 【時期】4月～	健康保険制度の概要、諸手続きの詳細、疾病関連情報等さまざまな情報を発信している	・記事の更新頻度 ・ホームページを利用した申込などで利用者の拡大 ・ホームページに関心をもってもらう	3
	5	健康保険専門誌	【目的】健康管理委員への情報提供 【概要】保険・保健制度、健康情報等をまとめた冊子『へるすアップ21』を配布	-	一部の事業所	-	-	-	3,369	【実施状況】 事業所健康管理委員へ配布 【実施時期】 毎月	・毎月事務所に届くこと ・タイムリーな情報がコンパクトにまとめられている ・紙媒体による情報提供なので目を通してもらいやすい	・健康管理委員設置の事業所が対象であるため、全事業所に配布していない	3
	5	健康関連パンフレット	【目的】保険・保健知識の解説及び疾病予防 【概要】上記内容を記載したパンフレットを作成し配布(機関紙に同封)	被保険者	全て	男女	15～74	全員	9,828	【実施状況】 「事業案内」、冊子「家族でしっかり対策冬にふえる感染症」を被保険者に配布 【実施時期】 4月、10月	・健康や健康保険に関する詳細な情報をタイムリーに提供している	・機関紙掲載記事の補完機能の充実	3
	5	算定基礎説明会並びに健康教育講座	【目的】保険・保健制度の周知と疾病予防 【概要】算定基礎届に関する事務説明会を開催、その際疾病予防に関する健康講座を実施	-	全て	-	-	-	1,188	【実施状況】 算定基礎届説明会を開催 【実施時期】 6月	・算定基礎届・月額変更届について周知、説明 ・適正な保険料徴収を推進	・全事業所が対象であるが、一部地域のみ参加 ・参加者の拡大 ・開催場所の検討	2
	5	事務講習会	【目的】保険・保健制度の周知 【概要】事務担当者を対象に制度改正に関する講習会を開催	-	全て	-	-	-	1,728	【実施状況】 事務担当者を招集し、算定説明会と同時に開催 【実施時期】 6月	-	・制度改正時だけでなく、通常時にも開催し健康保険制度への理解を深めてもらうことが必要	2

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	2,8	ジェネリック医薬品通知	【目的】医療にかかる費用の認識並びに医療費の適正化 【概要】ジェネリック差額通知を基準以上又は、アレルギー・鼻炎等対象者に配布	被保険者被扶養者	全て	男女	0～74	基準該当者	3,073	【実施状況】ジェネリック差額通知を発行 1,986名 【実施時期】6,10,2月	・ジェネリック医薬品利用率の増加	・さらなる利用促進のため、広報、ホームページによる周知が必要	4
	2,3,4,5	健康管理事業推進委員会	【目的】健康管理対策事業の進捗状況と効果報告、および事業所側の意見の徴収。 【概要】健康管理事業推進委員会を年2回開催。	被保険者	一部の事業所	男女	-	その他(特退など)	432	【実施状況】年2回開催 出席者(19名) 【実施時期】7月、11月	・保健指導部門における各事業の進捗状況、変更点を分かりやすく報告。 ・推進委員を通して保健指導の効果が拡散されるケースあり。聞いた事業主からの依頼で保健指導を実施できた等、保健事業の推進になっている。	・事業主側の需要に応じた数値の提示が必要。例えば、生活習慣病による休職者の健診データの特徴や予防など。	2
疾病予防	2,4	重症化予防対策	【目的】生活習慣病における医療費削減 生産性の高い労働力の確保 【概要】書面で受診勧告 健診時及び訪問にて面談実施	被保険者	全て	男女	15～74	基準該当者	500	・平成28年8月に健診結果がハイリスクであるにも関わらず、受診が確認できない対象者649名に対して書面で受診勧告を行った。 ・前年度健診結果で対象者リストを作成、健診時面談で受診勧告および保健指導を行った。	・レセプトと突き合わせを行い、受診の有無を正確に把握できた。	・書面のみだと勧告のインパクトが薄い。 ・勧告後1ヶ月間は受診率が向上するが以降はもとに戻ってしまう。	3
	2,4,6,7	保健指導及び栄養指導	【目的】全ての組合員の生産性の向上。 【概要】・保健師、管理栄養士が事業所に訪問し保健指導・栄養指導を実施 ・健診時を利用して、「リスクなし群」および「低リスク群」にも予防的アプローチを行う。	被保険者被扶養者	全て	男女	15～74	全員	6,588	【実施状況】訪問保健指導 4882名実施 【実施時期】随時:事業所と調整・合意した時期に実施	・当健康組合保健師、管理栄養士が健診時に簡易な面談を行うことにより、事業所全体の低中リスク層の大幅な減少が数値化できた。効果が視覚化できたことにより事業所側の需要が増した。	・健診時期が重なり希望があってもマンパワーの問題で訪問できない事業所がある。 ・健診担当者判断にならないよう事業主への直接の案内を検討中。	3
	6	ファミリー健康相談	【目的】不安解消と適正受診の促進 【概要】(株)法研に委託し、健康・疾病に対する相談に専門職が対応 24時間電話対応、医療機関案内、WEB相談可能、専門医との相談可能	被保険者被扶養者	全て	男女	0～(上限なし)	全員	5,832	【実施状況】3,174回利用 【実施時期】随時	・利用者の要望に応じて電話相談が利用可能 ・365日、24時間対応 ・勤務時間外の対応可能	・前年度利用者数が減少したことから、利用者の促進として、広報紙等によりさらなる周知が必要	3
	6	メンタルヘルスカウンセリング	【目的】不安解消と重症化防止 【概要】メンタルヘルスに関する相談に対し専門職が対応	被保険者被扶養者	全て	男女	0～(上限なし)	全員	1,944	【実施状況】電話769回利用 面談27回 【実施時期】随時	・利用者の要望に応じて面談・電話相談が利用可能 ・勤務時間外の対応可能	・事業所内のメンタル相談も可能であることを併せた広報が必要	3
	3,4,7	生活習慣病予防健診 Aコース	【目的】疾病の早期発見・早期治療と健診受診率の向上 【概要】35歳未満の被保険者を対象に実施(1人当5,573円を限度に補助)	被保険者	全て	男女	15～34	基準該当者	77,716	【実施状況】12,289名実施 (補助金受診者2,648再掲) (2次検査受診者382名) 【実施時期】随時	・全国200の契約医療機関で受診可 ・契約医療機関以外での受診者は補助金で対応 ・当健康組合保健師、管理栄養士が健診時に簡易な面談を行った。若年者やリスクの無い方の反応がよい。	・受診者の利便性を図るため、特に地方の契約医療機関の拡充が必要	4
	3,4,7	生活習慣病予防健診 Bコース	【目的】疾病の早期発見・早期治療と健診受診率の向上 【概要】35歳以上の被保険者を対象に実施(1人当10,670円を限度に補助)	被保険者	全て	男女	35～74	基準該当者	184,965	【実施状況】21,657名実施 (補助金受診者3,251名再掲) (2次検査受診者1,645名) 【実施時期】随時	・全国200の契約医療機関で受診可 ・契約医療機関以外での受診者は補助金で対応 ・当健康組合保健師、管理栄養士が健診時に簡易な面談を行った。若年者やリスクの無い方の反応がよい。	・受診者の利便性を図るため、特に地方の契約医療機関の拡充が必要	4

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
	3,4	婦人生活習慣病予防健診Cコース	【目的】 疾病の早期発見・早期治療と健診受診率の向上 【概要】 女性を対象に実施（1人当被保険者15,325円、被扶養者13,424円を限度に補助）	被保険者 被扶養者	全て	女性	15～74	基準該当者	128,801	【実施状況】 8,959名実施 (補助金受診者190名再掲) (2次検査受診者423名) 【実施時期】 東振協：春季4～7月、秋季10～1月、契約医療機関：年間	・全国を会場とした集団健診に参加していることで会場の選択肢が増えたこと ・契約医療機関では、1年を通して受診可能であること ・婦人科健診をバス健診で実施できる健診機関を増やした。	・被扶養者の受診拡大	2
	3	人間ドック	【目的】 疾病の早期発見・早期治療と健診受診率の向上 【概要】 被保険者及び被扶養者に実施 ・組合センタードック (被保険者、被扶養者<年齢制限なし>を対象者に実施) ・短期ドック (被保険者、被扶養者<35歳以上>を対象者に実施) 健保連及び契約医療機関で受診した場合 1人当35,640円を限度に補助 ・1日ドック (被保険者、被扶養者<35歳以上>を対象者に実施) 健保連及び契約医療機関以外で受診した場合 1人当18,900円を限度に補助	被保険者 被扶養者	全て	男女	15～74	全員	147,441	【実施状況】 ・組合センタードック 859名実施 (2次検査受診者70名) ・1泊ドック 504名実施 (補助金受診者349名) ・日帰りドック 5,785名実施 (補助金受診者1,510名) 【実施時期】 随時	・組合契約医療機関及び健保連契約医療機関を利用することで医療機関の選択肢が増えたこと ・契約以外は補助金で対応	・組合センタードックの利用者が減少傾向にある ・施設、設備の老朽化に伴い、今後の健康管理センターのあり方を検討する	3
	3	脳検査	【目的】 疾病の早期発見・早期治療と健診受診率の向上 【概要】 東振協に委託し、東振協契約医療機関にて実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	全員	21	【実施状況】 17名実施 【実施時期】 随時	・実施機関が拡大され利便性がよい	・利用者の拡大のため周知、広報が必要	1
	3	インフルエンザ予防接種	【目的】 インフルエンザの予防 【概要】 東振協に委託し東振協の契約医療機関にて実施	被保険者 被扶養者	全て	男女	16～74	全員	432	【実施状況】 院内 744名実施 出張1,258名実施 【実施時期】 10月～2月	・実施機関が拡大され、接種場所の利便性がよい	・利用者の拡大のため、周知、広報が必要	3
体育奨励	8	けんぼウォーキング	【目的】 健康の維持・増進 【概要】 ウォーキング大会を開催（高尾山）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	3,736	【実施状況】 高尾山 568名参加 【実施時期】 高尾山 11月	・開催場所をお台場、高尾山とアクセスのよい観光地に設定 ・家族での参加が可能 ・ウォーキングに適した立地（高尾山）	・参加者の固定化 ・天候に左右される ・参加促進 ・開催場所が固定化されているため、コースの変更 ・（29年度より春のウォーキングを廃止、潮干狩りに変更）	3
	8	スマホウォーキング	【目的】 生活習慣病予防及び健康の維持・増進 【概要】 クリエイティブNEXTと契約	被保険者	全て	男女	16～74	全員	2,160	【実施状況】 102名登録 【実施時期】 10月～	・手軽にウォーキングが楽しめる ・コンテンツを利用し、健康管理ツールとして利用できる ・年間をとおして参加継続可能	・周知し参加促進 ・登録方法が煩雑 ・指定IT歩数計またはスマートフォンが必要 ・参加者拡大のため大会開催予定	1
	8	野球大会	【目的】 健康の維持・増進 【概要】 当組合大宮運動場にて野球大会を開催	被保険者	全て	男女	16～74	全員	5,140	【実施状況】 35チーム参加 【実施時期】 5月～	・事業所対抗でもあり、親睦も深めることができる	・参加チームの減少 ・参加チーム促進	3
	8	テニス講習会	【目的】 健康の維持・増進 【概要】 当組合大宮運動場にてテニス講習会を開催	被保険者	全て	男女	16～74	全員	1,075	【実施状況】 71名参加 【実施時期】 10月	・技術の向上 ・大会参加などのスポーツ意欲を向上	・参加者の多くがリピーターだが参加者減少 ・参加促進 ・コート補修	2
	8	フィットネスクラブ	【目的】 中高年層の肥満防止、生活習慣病対策、ストレス発散、体力向上 【概要】 ・セントラルスポーツ(株)と契約 ・(株)ルネサンスと契約 ・年間利用チケット数4,800枚（セントラル） ・契約料無料（ルネサンス）	被保険者 被扶養者	全て	男女	0～74	全員	1,620	【実施状況】 セントラルスポーツ（株）522名利用 （株）ルネサンス 5,921名利用 【実施時期】 随時	・全国展開のため、多くの利用が望める ・コーポレートメンバーズカード発行料無料キャンペーン実施 ・子供と一緒に運動が楽しめる(ルネサンス) ・月払いができることによって利用者増	・利用者が伸びない ・セントラルは都度払いのため、利用者数が伸びない(29年度セントラル契約中止)	3

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業の目的および概要	対象者					事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				資格	対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
その他	8	契約保養所	【目的】健康の維持・増進とリフレッシュ 【概要】法人会員制ホテル「ラフォーレ倶楽部」と契約	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	7,344	【実施状況】 954名利用 【実施時期】 随時	・全国展開のため、多くの利用が望める ・施設の充実	・平日利用の促進	2
	8	大宮運動場	【目的】大宮運動場の維持・管理 【概要】共同管理にて運営	被保険者 被扶養者	全て	男女	0 ～ 74	全員	23,695	【実施状況】 野球場 162件 6,480名利用 テニス 2,091件 8,364名利用 【実施時期】 随時	・補修工事実施	・台風による水害のため、グラウンドが使用できないことがある ・利用者の拡大	3

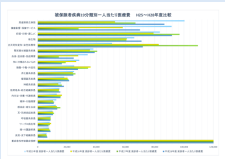
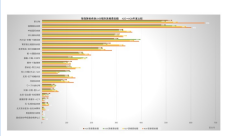


注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 訪問指導 8. その他

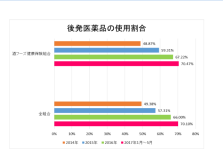



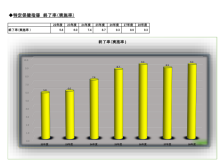
注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

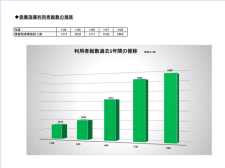
事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								
定期健康診断	安衛法に基づく健診	被保険者	男女	16 ～ 74	-	-	事業主の実施状況等の把握	-
産業医の設置状況の把握	-	-	-	- ～ -	-	-	従業員50名以上の事業所の産業医設置状況の把握	-

STEP 1-3 基本分析

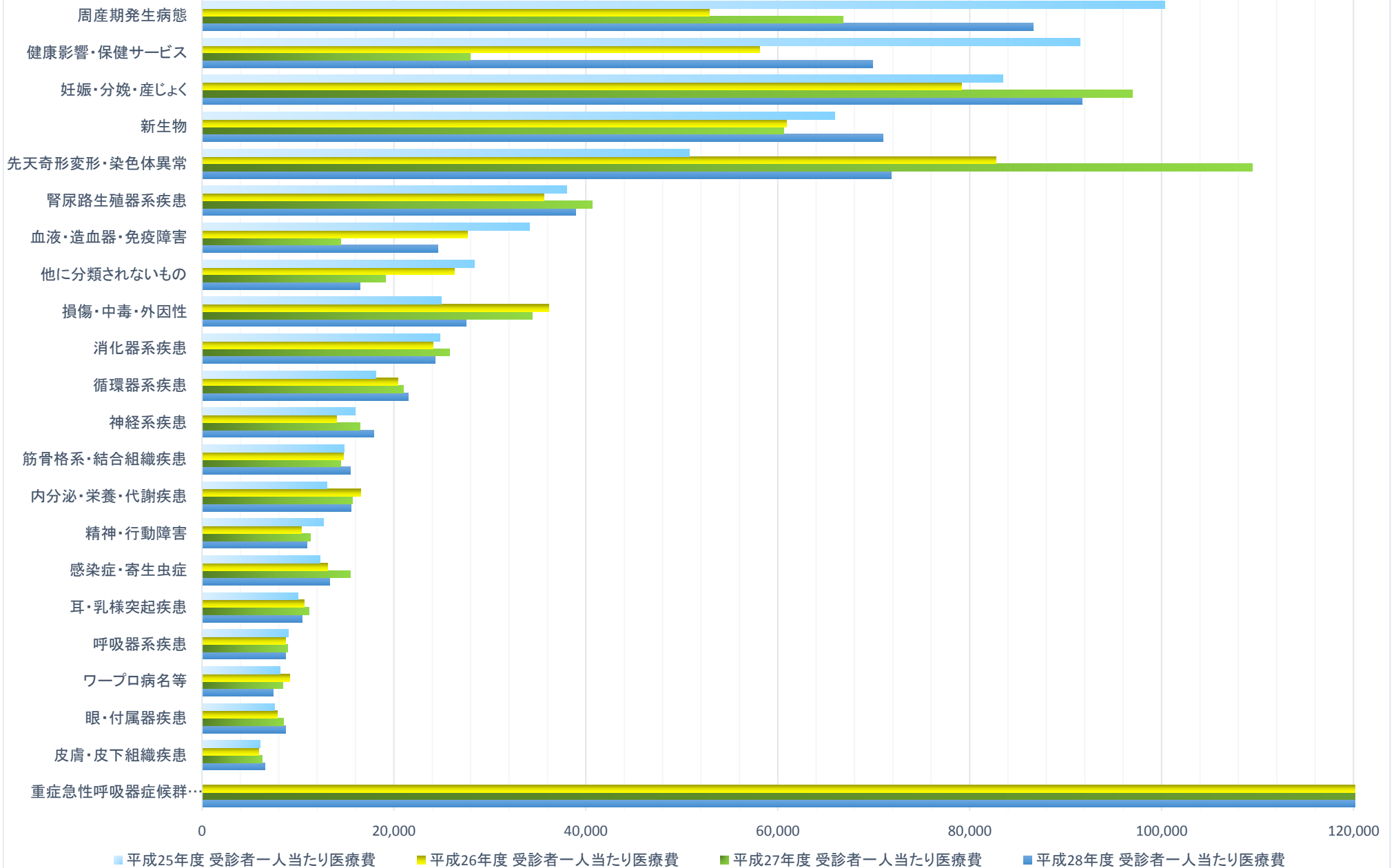
登録済みファイル一覧

記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント																																																												
ア		一人当たり医療費	医療費・患者数分析	総医療費と一人当たり医療費がともに高いのは、新生物、循環器系疾患、消化器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、腎尿路生殖器系疾患である。																																																												
イ		疾病分類別総医療費	医療費・患者数分析	総医療費と一人当たり医療費がともに高いのは、新生物、循環器系疾患、消化器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、腎尿路生殖器系疾患である。																																																												
ウ	<p>入院レセプトが発生(休職)している方の特徴</p> <table border="1" data-bbox="168 726 392 901"> <tr> <td>第一種労働者等労働者数(人数)</td> <td>45,703名</td> <td>45歳以下(割合)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>39,843名</td> <td>76.5%</td> <td>平均年齢 41.7才</td> </tr> <tr> <td>女性</td>> <td>5,860名</td> <td>12.9%</td> <td>平均年齢 38.1才</td> </tr> <tr> <td>入院レセプト発生人数</td> <td>1,101名</td> <td>2.4%</td> <td>平均年齢 44.1才</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>1,026名</td> <td>93.2%</td> <td>平均年齢 44.1才</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>75名</td> <td>6.8%</td> <td>平均年齢 38.1才</td> </tr> <tr> <td>医療費合計</td> <td>1,071,000,000円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一人当たり医療費</td> <td>729,322円</td> <td>約</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均入院日数</td> <td>12.2日</td> <td>日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活習慣病の人数</td> <td>281名</td> <td>25.5%</td> <td>平均年齢 42.2才</td> </tr> <tr> <td>男性</td> <td>272名</td> <td>97.2%</td> <td>平均年齢 42.2才</td> </tr> <tr> <td>女性</td> <td>9名</td> <td>3.2%</td> <td>平均年齢 32.1才</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病総医療費</td> <td>1,060,500円</td> <td>約</td> <td>118%</td> </tr> <tr> <td>生活習慣病一人当たり医療費</td> <td>3,773,808円</td> <td>約</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活習慣病平均入院日数</td> <td>15.8日</td> <td>日</td> <td></td> </tr> </table>	第一種労働者等労働者数(人数)	45,703名	45歳以下(割合)		男性	39,843名	76.5%	平均年齢 41.7才	女性	5,860名	12.9%	平均年齢 38.1才	入院レセプト発生人数	1,101名	2.4%	平均年齢 44.1才	男性	1,026名	93.2%	平均年齢 44.1才	女性	75名	6.8%	平均年齢 38.1才	医療費合計	1,071,000,000円			一人当たり医療費	729,322円	約		平均入院日数	12.2日	日		生活習慣病の人数	281名	25.5%	平均年齢 42.2才	男性	272名	97.2%	平均年齢 42.2才	女性	9名	3.2%	平均年齢 32.1才	生活習慣病総医療費	1,060,500円	約	118%	生活習慣病一人当たり医療費	3,773,808円	約		生活習慣病平均入院日数	15.8日	日		生活習慣病で休職している人の医療費	医療費・患者数分析	入院医療費が高い。レセプト件数は外来の1/10なので医療費は10倍。中でも生活習慣病関連疾患は入院日数も医療費も50%以上増加する。入院レセプトが発生した者の前年度の健診データ異常項目はハイリスク者と一致する。
第一種労働者等労働者数(人数)	45,703名	45歳以下(割合)																																																														
男性	39,843名	76.5%	平均年齢 41.7才																																																													
女性	5,860名	12.9%	平均年齢 38.1才																																																													
入院レセプト発生人数	1,101名	2.4%	平均年齢 44.1才																																																													
男性	1,026名	93.2%	平均年齢 44.1才																																																													
女性	75名	6.8%	平均年齢 38.1才																																																													
医療費合計	1,071,000,000円																																																															
一人当たり医療費	729,322円	約																																																														
平均入院日数	12.2日	日																																																														
生活習慣病の人数	281名	25.5%	平均年齢 42.2才																																																													
男性	272名	97.2%	平均年齢 42.2才																																																													
女性	9名	3.2%	平均年齢 32.1才																																																													
生活習慣病総医療費	1,060,500円	約	118%																																																													
生活習慣病一人当たり医療費	3,773,808円	約																																																														
生活習慣病平均入院日数	15.8日	日																																																														
エ	<p>生活習慣病の健診異常項目</p> 	生活習慣病で入院している人のデータ	健康リスク分析	入院医療費が高い。レセプト件数は外来の1/10なので医療費は10倍。中でも生活習慣病関連疾患は入院日数も医療費も50%以上増加する。入院レセプトが発生した者の前年度の健診データ異常項目はハイリスク者と一致する。																																																												
オ		休職している人のデータ	医療費・患者数分析	入院医療費が高い。レセプト件数は外来の1/10なので医療費は10倍。中でも生活習慣病関連疾患は入院日数も医療費も50%以上増加する。入院レセプトが発生した者の前年度の健診データ異常項目はハイリスク者と一致する。																																																												

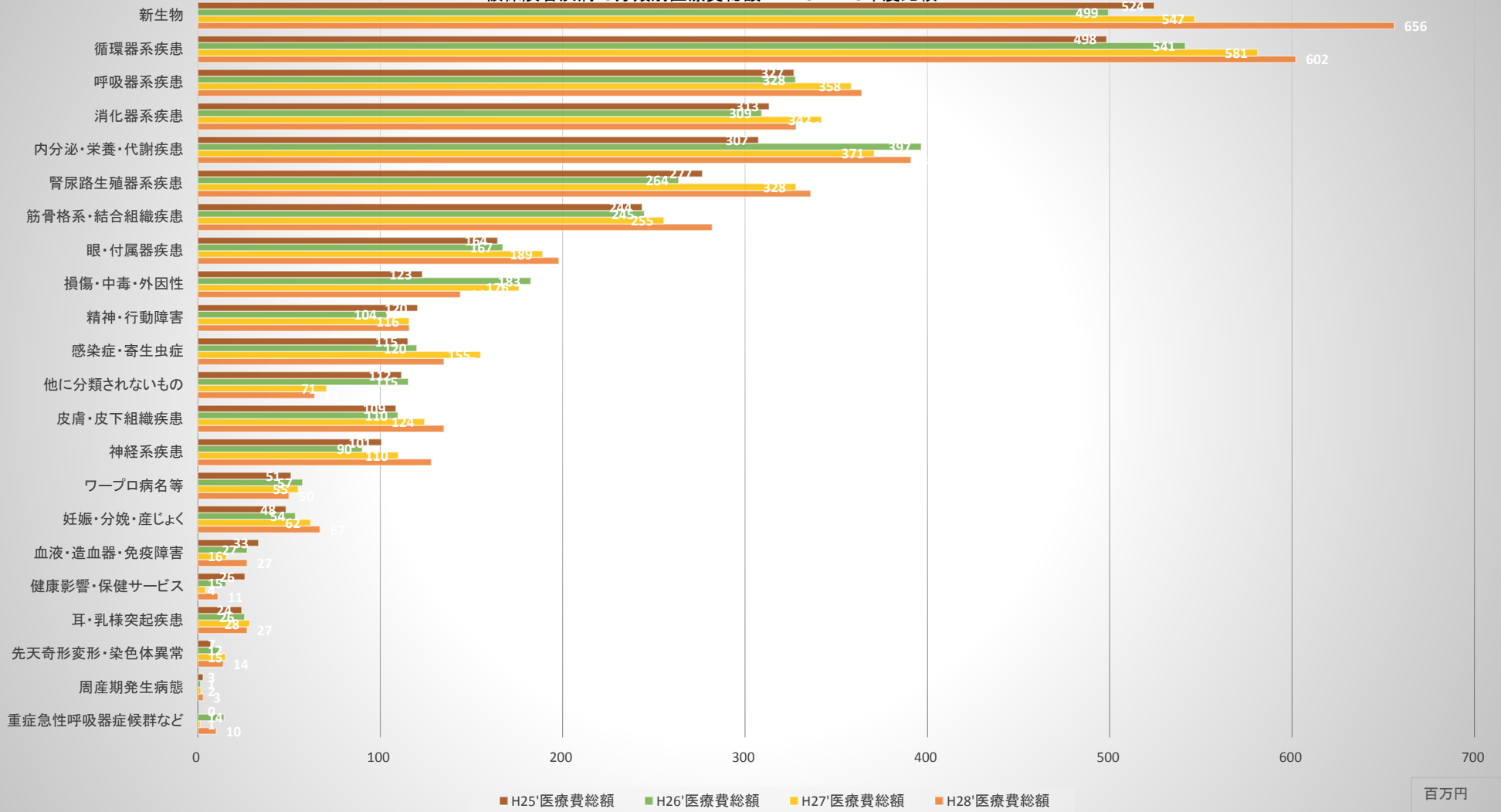
カ		ジェネリック薬使用率	後発医薬品分析	調剤医療費も1/3を占める。
キ		年代別のジェネリック利用率	後発医薬品分析	60歳以上のジェネリック薬利用率が低い
ク		重症化予防における保健指導効果	健康リスク分析	健診データにおいてハイリスクの者はリスクなしの者に比べて生活習慣病医療費が38.5倍にもなる。ハイリスクで未受診の者が1,049名存在する。重症化予防対策における書面での受診勧告後、直後1ヶ月の受診率は約50%上昇する。「保健指導あり」群は「保健指導なし」群に比べて、一人当たりの生活習慣病医療費が5万円以上低い。
ケ		書面での受診勧告の効果	健康リスク分析	健診データにおいてハイリスクの者はリスクなしの者に比べて生活習慣病医療費が38.5倍にもなる。ハイリスクで未受診の者が1,049名存在する。重症化予防対策における書面での受診勧告後、直後1ヶ月の受診率は約50%上昇する。「保健指導あり」群は「保健指導なし」群に比べて、一人当たりの生活習慣病医療費が5万円以上低い。
コ		保健指導終了率	特定保健指導分析	保健指導の機会を均等にとという狙いから初回面談を重視した。今後は健診時の活用や新規事業所の開拓などを進め終了率向上を目指す。

<p>サ</p> 	<p>保健指導実施状況</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>保健指導の利用者総人数は年々増加傾向。増加の根拠は、特定保健指導に加えハイリスク者面談、健診時面談を積極的実施したことにある。今後は訪問事業所を増やし面談窓口を広げ、利用者のさらなる増加を目指す。</p>
<p>シ</p> 	<p>保健指導を実施できている事業所率</p>	<p>特定保健指導分析</p>	<p>6割以上の事業所が保健指導を実施している。産業医設置義務がない50名以下の事業所に優先的に案内を行い、健康管理の機会を提供したい。</p>

被保険者疾病19分類別一人当たり医療費 H25～H28年度比較



被保険者疾病19分類別医療費総額 H25～H28年度比較



入院レセプトが発生(休職)している方の特徴

酒フーズ健保組合被保険者総人数	48,700 名	*平成27年4月現在*	
男性	35,843 名	73.6%	平均年齢 41.7才
女性	12,857 名	26.4%	平均年齢 39.1才

入院レセプト総人数	2,155 名	4.4%	平均年齢 44.8才
男性	1,366 名	63.4%	平均年齢 48.0才
女性	789 名	36.6%	平均年齢 39.1才
診療金額計	1,571,689,900 円		
一人当たり診療費	729,322	円	
平均入院日数	12.0	日	

生活習慣病の人数	262 名	12.2%	平均年齢 50.8才
男性	210 名	80.2%	平均年齢 51.5才
女性	52 名	19.8%	平均年齢 48.0才
生活習慣病の医療費	275,251,910	円	17.5%
生活習慣病一人当たり診療費	1,050,580	円	
生活習慣病平均入院日数	18.5	日	

休職者の健診異常項目

総合(%) (/性別人数)

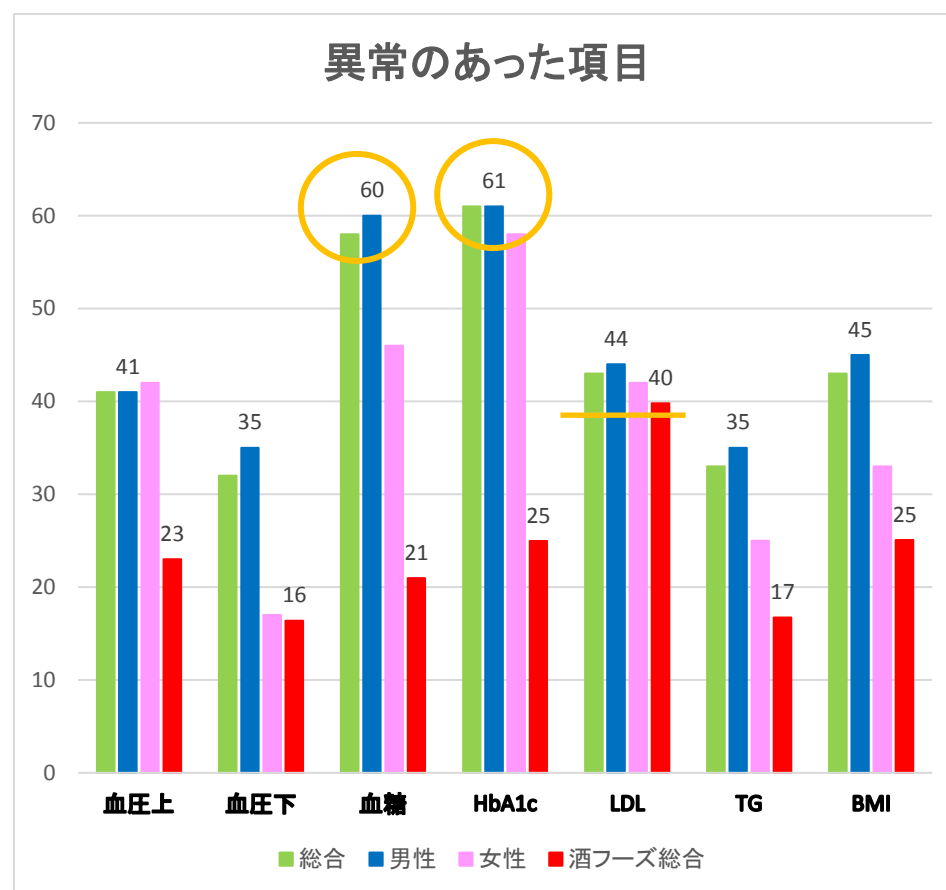
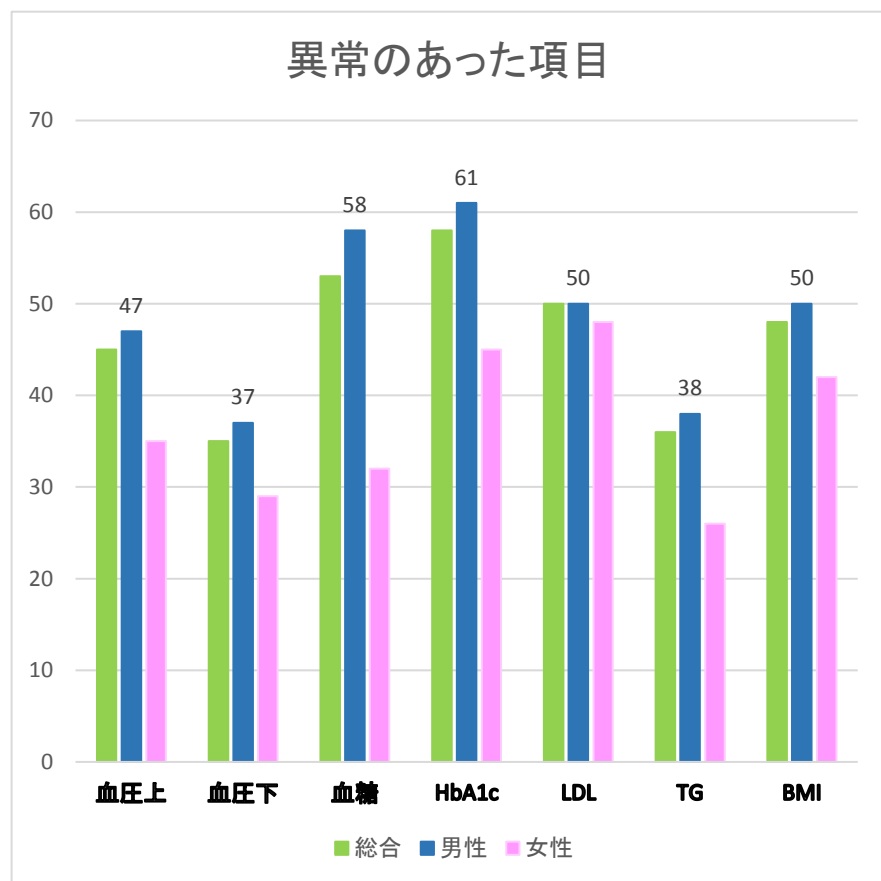
(平成27年度)

	血圧上	血圧下	血糖	HbA1c	LDL	TG	BMI
総合	45	35	53	58	50	36	48
男性	47	37	58	61	50	38	50
女性	35	29	32	45	48	26	42

総合(%) (/性別人数)

(平成28年度)

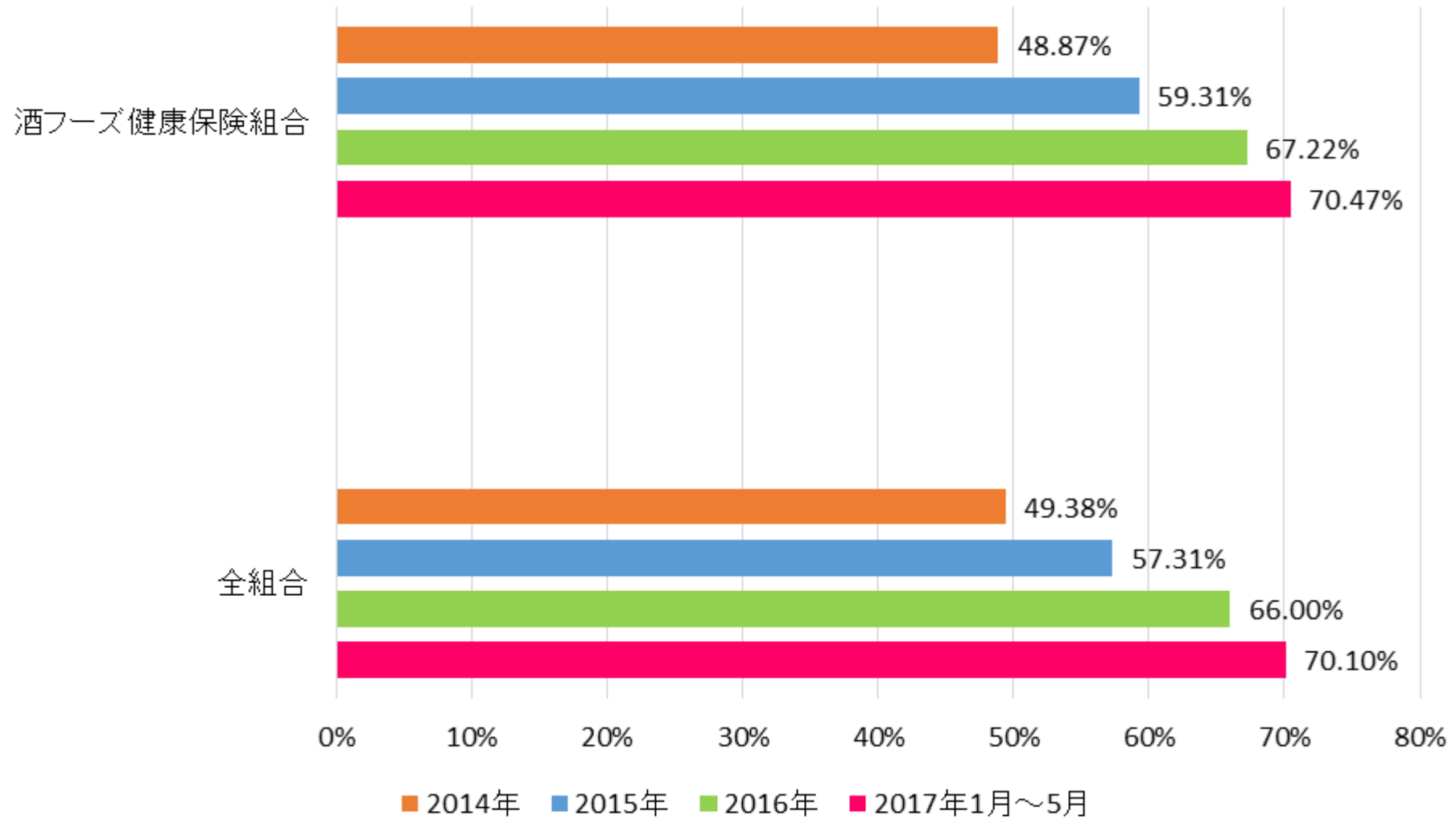
	血圧上	血圧下	血糖	HbA1c	LDL	TG	BMI
総合	41	32	58	61	43	33	43
男性	41	35	60	61	44	35	45
女性	42	17	46	58	42	25	33
酒フーズ総合	23	16	21	25	40	17	25



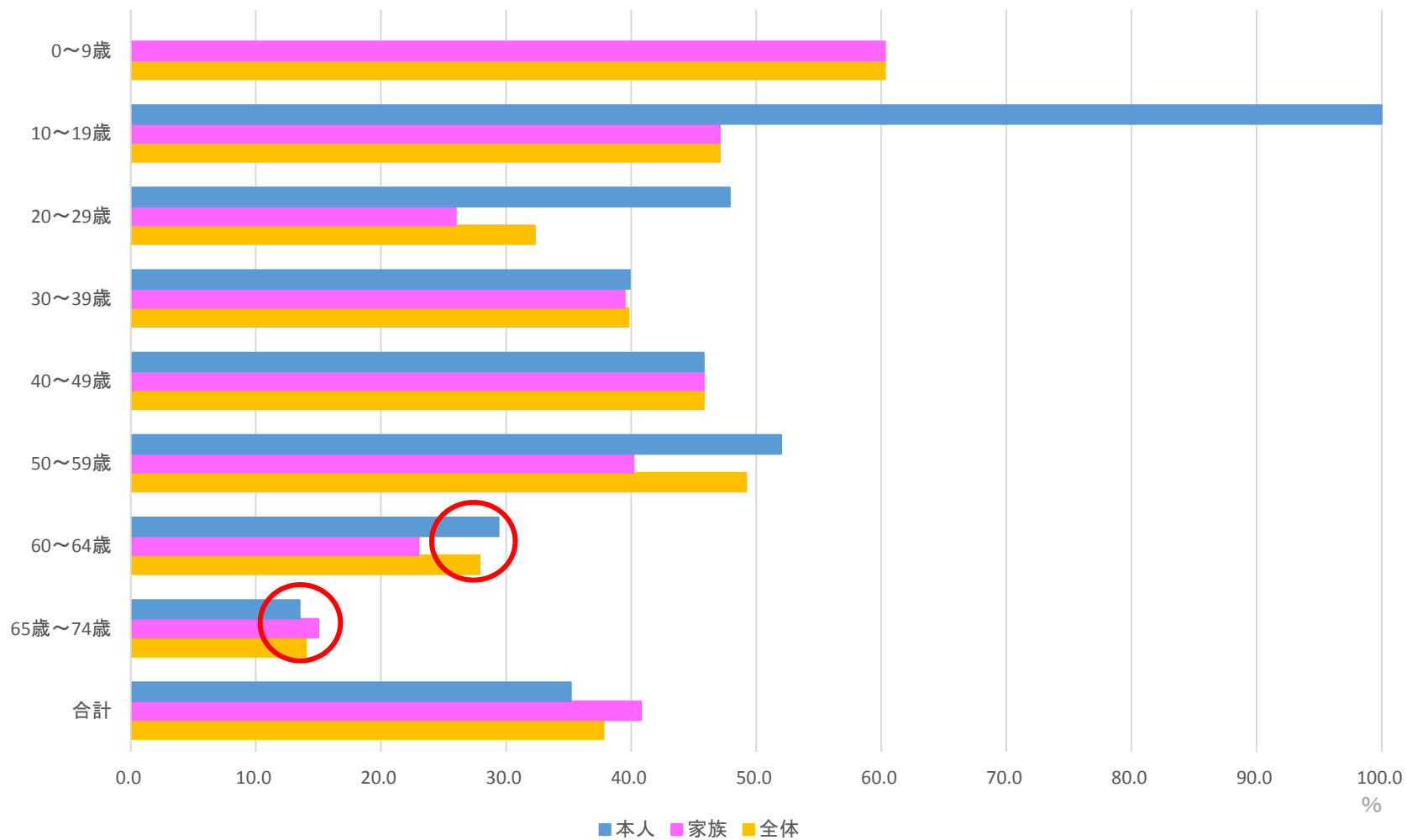
生活習慣病ランキング(2016年6月～2017年5月請求レセプトより)

コード			人数(人)	金額(円)	人数順	金額順	入院実日数順
0902	902	虚血性心疾患	82	112,205,210	1	1	3
0402	402	糖尿病	58	32,484,060	2	3	4
0906	906	脳梗塞	29	41,048,660	3	2	1
0403	403	他の内分泌、栄養及び代謝疾患	26	15,509,800	4	6	6
1403	1403	尿路結石症	24	8,860,920	5	7	10
0901	901	高血圧性疾患	16	2,792,780	6	11	7
0905	905	脳内出血	9	23,003,370	7	5	5
0401	401	甲状腺障害(高脂血)	8	5,237,390	8	8	9
0904	904	くも膜下出血	4	26,672,360	9	4	2
1106	1106	アルコール性肝疾患	3	645,510	10	12	12
0909	909	動脈硬化(症)	2	3,476,970	11	9	11
1009	1009	慢性閉塞性肺疾患	1	3,314,880	12	10	8
0907	907	脳動脈硬化(症)					
1107	1107	慢性肝炎(アルコール性除く)					
1108	1108	肝硬変(アルコール性除く)					
		合計	262	275,251,910			

後発医薬品の使用割合

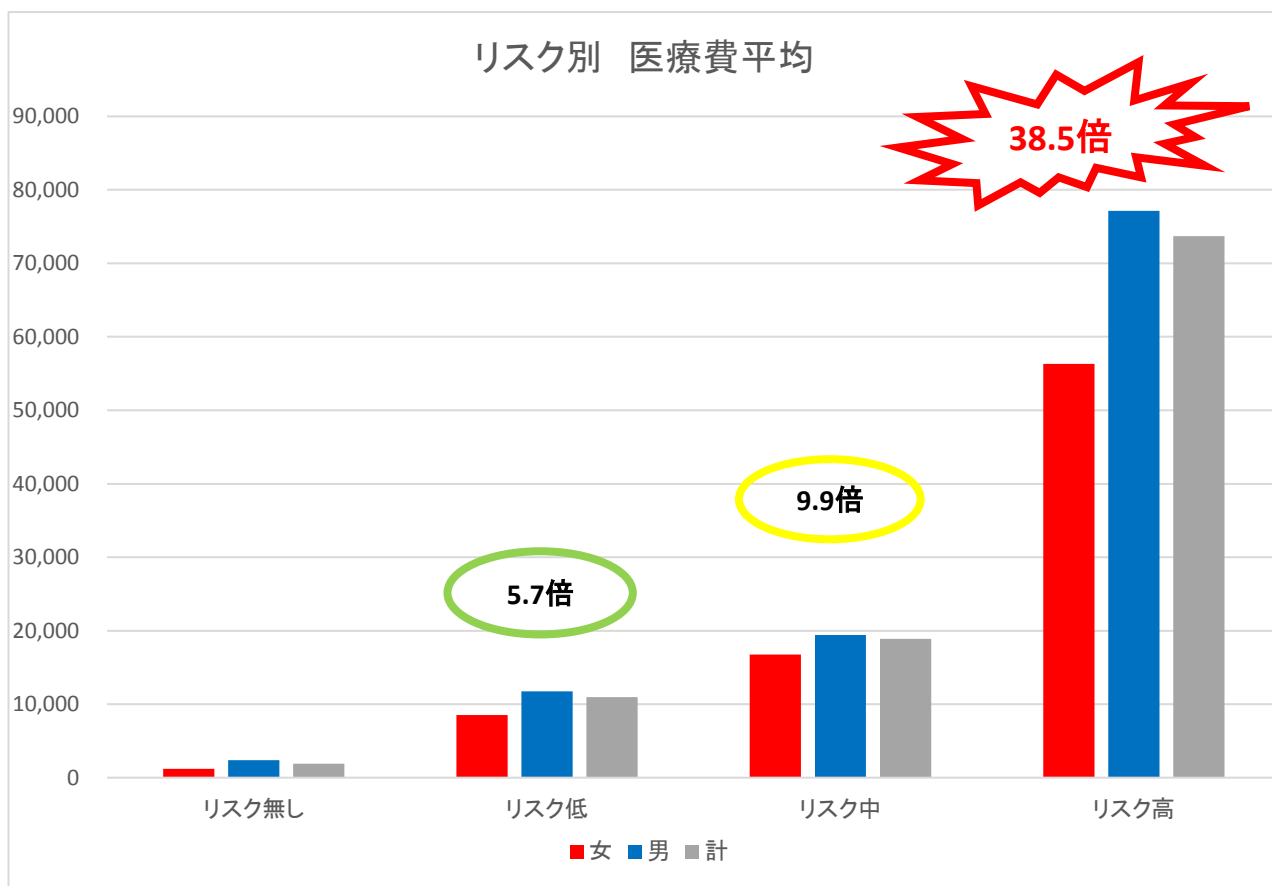


ジェネリック差額通知書配布対象者における使用率



* (平成28年3月~平成29年2月診療分)

③平成27年度リスク別 生活習慣病関連疾患医療費



④保健指導有無による1人当たり医療費

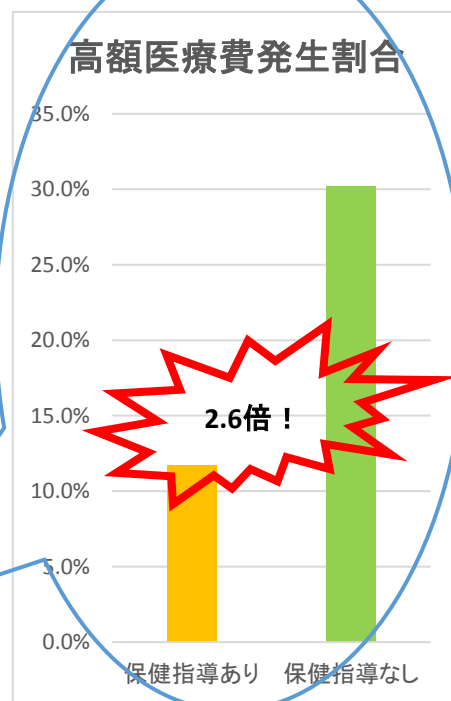
A 支援者＝平成27年度ハイリスク者3,032名の動向

保健指導有無	保健指導実施人数	生活習慣病で医療費発生あり	1人当たり医療費	
保健指導有	582	232	39.9%	33,638円
保健指導無	2,450	1,427	58.2%	83,227円

B 高額医療費発生率

(1年に10万円以上で、内服だけではコントロールできない状態)

保健指導有無	高額医療費発生件数	高額医療費発生割合
保健指導あり	68	11.7%
保健指導なし	740	30.2%



【重症化予防対策について】

①文書支援

2年連続でハイリスク受診なしの者への文書支援

<27年度>

100名

動向	人数	率
医療機関受診	20	20.0%
通知前(再掲)	7	7.0%
通知後(再掲)	13	13.0%
資格喪失	80	80.0%

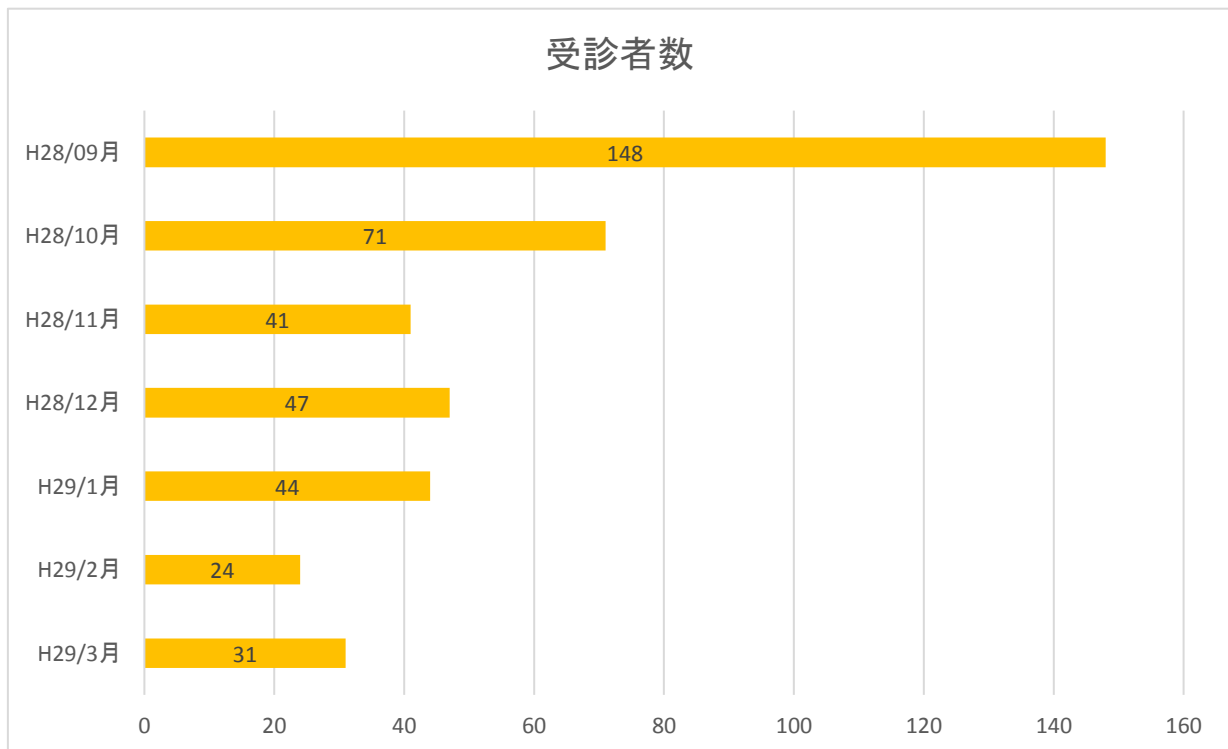
<28年度>

646名

動向	人数	率
医療機関受診	141	21.8%
通知前(再掲)	62	9.6%
通知後(再掲)	79	12.2%
資格喪失・他	505	78.2%

②文書支援後の受診者数

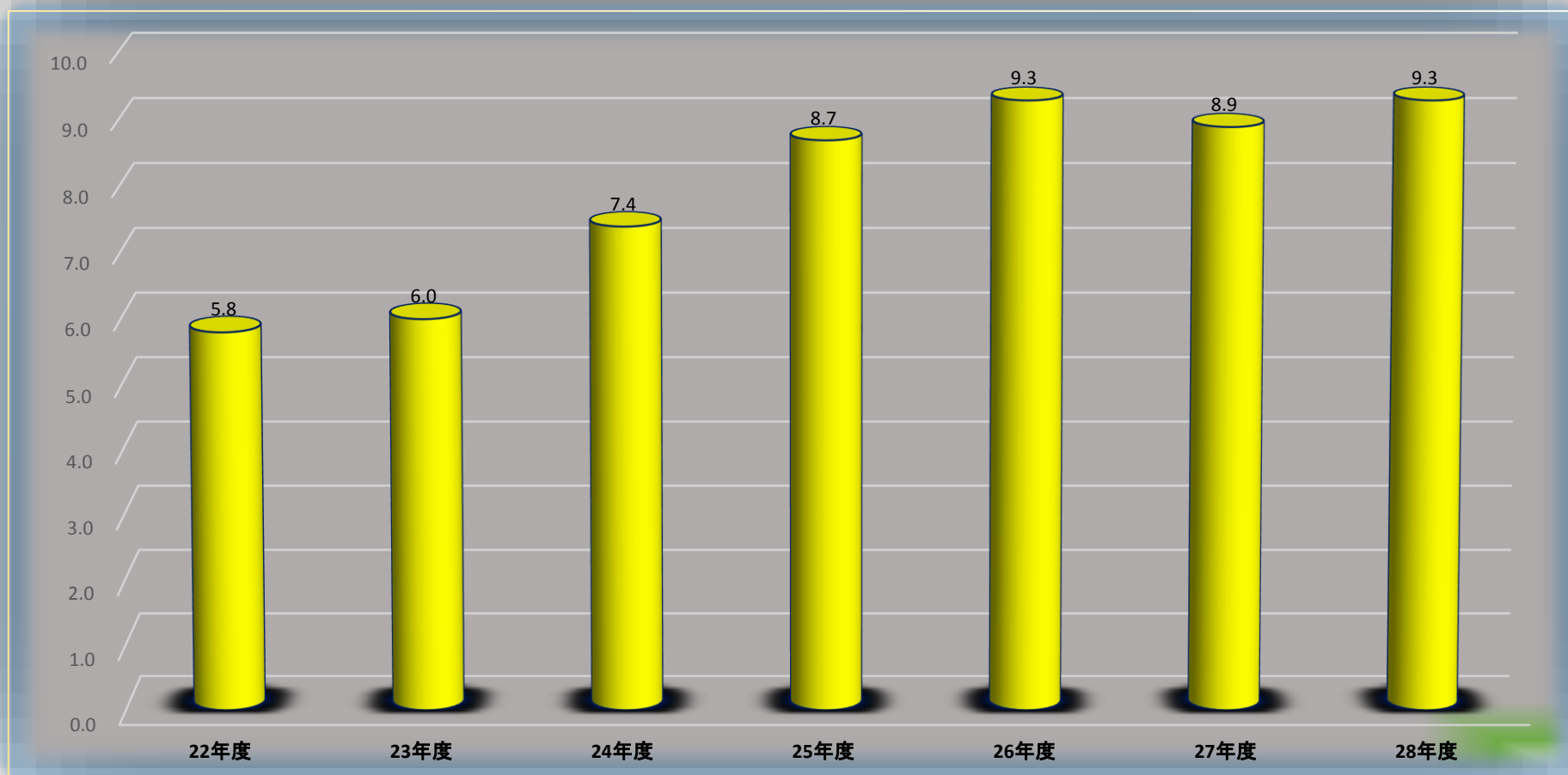
8月に文書支援



◆特定保健指導 終了率(実施率)

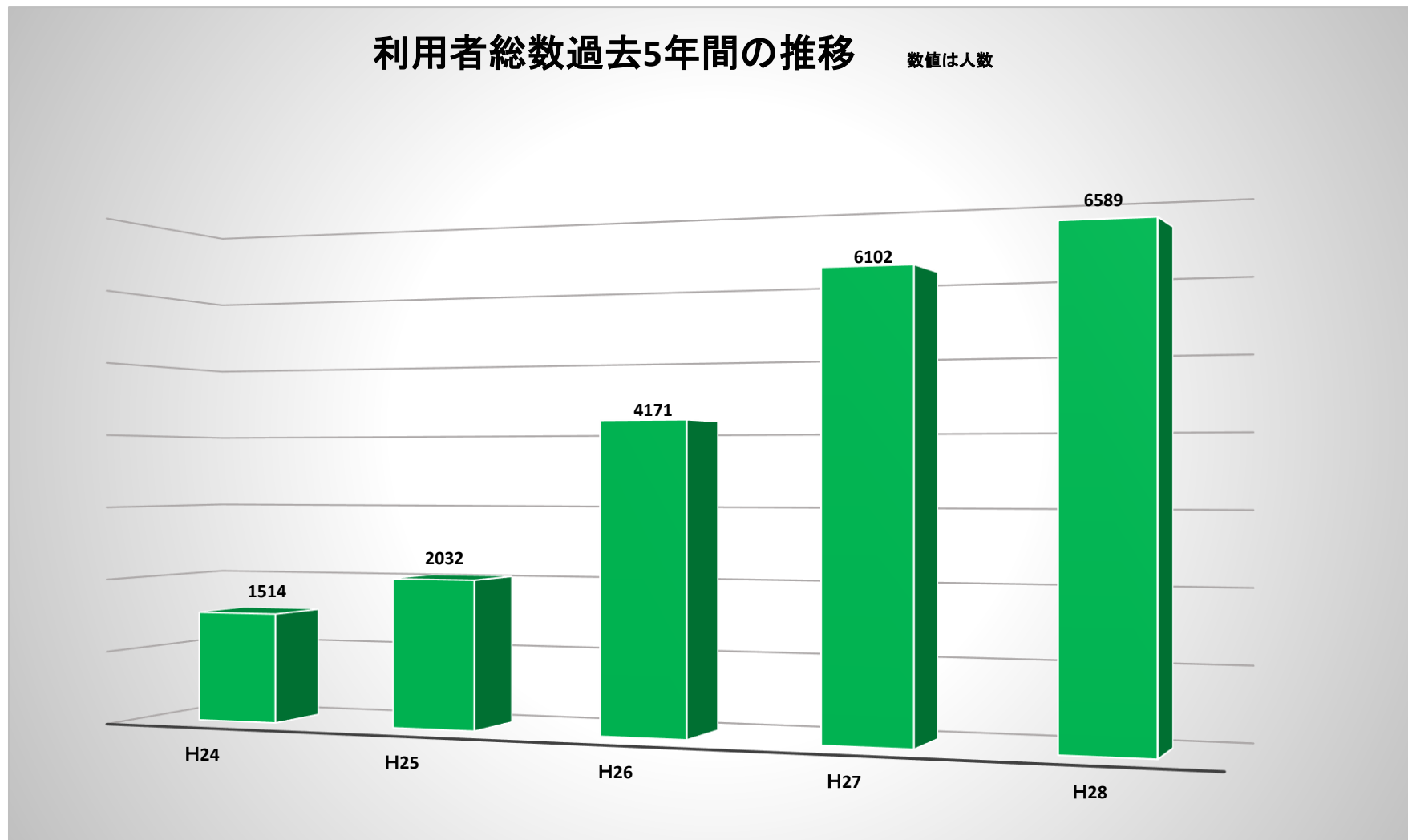
	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
終了率(実施率)	5.8	6.0	7.4	8.7	9.3	8.9	9.3

終了率(実施率)

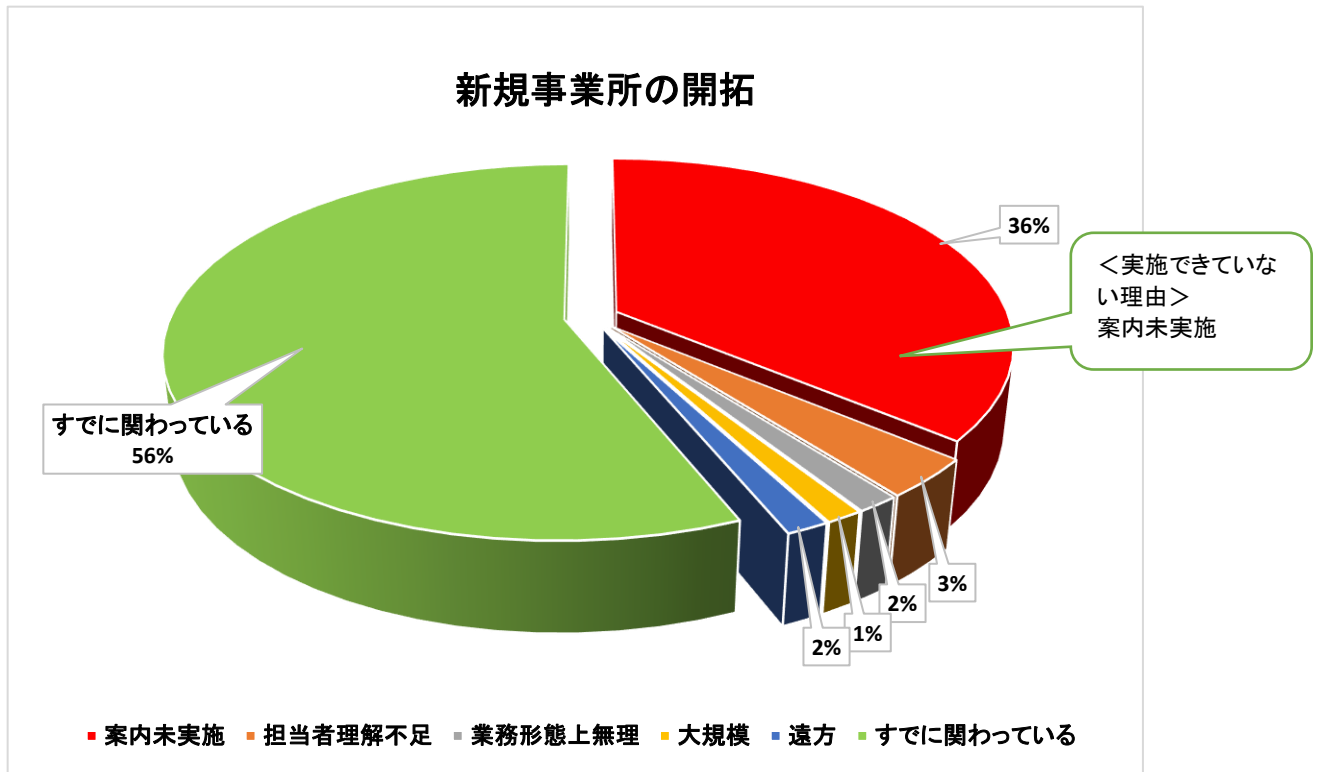


◆保健指導利用者総数の推移

年度	H24	H25	H26	H27	H28
保健指導実施総人数	1514	2032	4171	6102	6589



◆新規開拓



理由	案内未実施	担当者理解不足	業務形態上無理	大規模	遠方	すでに関わっている	計
数	170	16	7	6	7	265	471社
%	34.4	3.5	1.5	1.3	1.5	57.8	100%

H29 3月末の数

STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき課題
1	ア, イ	新生物、循環器系疾患、消化器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、腎尿路生殖器系疾患にかかる総医療費、一人あたり医療費がともに高い。	➔	健診データを活用し、リスク別に分類したうえで、ハイリスク群に対する受診勧告や保健指導を徹底する。	
2	ウ, エ, オ	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病関連疾患にかかる入院日数や医療費は、他の疾患に比べて50%以上増加する。 入院レセプトが発生した者の前年度の健診データ異常項目はハイリスク者の異常項目と一致する。 	➔	事業所と共同しての二次検査受診勧告、保健指導の推進を図り入院等、重症化予防を図る。	✓
3	カ, キ	<ul style="list-style-type: none"> 調剤医療費は、総医療費の4分の1を占める割合である。 60歳以上の後発医薬品の利用割合が低い。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> ジェネリック医薬品の使用割合の増加 ジェネリック医薬品の利用促進の継続 ジェネリック医薬品の未利用者に対する理由等の把握 	
4	ウ, エ, オ, ク, ケ	<ul style="list-style-type: none"> ハイリスク者にかかる生活習慣病関連疾患医療費は、リスクなし者に比べて38.5倍。 ハイリスク者で未受診者が1,049名存在する。 ハイリスク者に対する書面での受診勧告後の受診率は一時的に上昇するが継続しない。 「保健指導なし群」は「保健指導あり群」に比べて、一人あたりの生活習慣病医療費が5万円以上高い。 	➔	<ul style="list-style-type: none"> 重症化予防対策のさらなる強化 ハイリスク者に対する書面での受診勧告の継続 より効果のある面談での受診勧告と保健指導の推進。 	✓
5	シ	保健指導を実施することができない事業所が多い。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 事業主等に対して保健指導の必要性等の理解を深める 保健指導未実施の全事業所の事業主に対して案内 ホームページや機関紙などでの広報 	✓
6	未選択	健康状態に問題がない者への肯定的評価の欠落。	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健康状態に問題がない被保険者等に対する評価 インセンティブ事業導入の検討 	✓
7	未選択	被扶養者の健診受診率が低い。健診等の関心の低さ、情報提供の不足などが考えられる	➔	<ul style="list-style-type: none"> 健診機関の拡充の検討 健診受診の必要性を被扶養者へ周知 未受診者アンケートの実施を検討 	
8	未選択	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善	➔	<ul style="list-style-type: none"> 体育奨励事業の取組み等と参加促進を検討 広報誌、Web等利用した情報提供による運動・健康の意識づけ 	

基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 女性の被保険者の割合が増えている。 (短時間就労者の資格取得者のうち55%が女性) 平成26年12月末 27年12月末 28年12月末 29年12月末 27.8% 28.9% 30.1% 31.3% 今後も国の子育て支援、働き方改革等の対策により女性の被保険者割合は増加すると見込まれる。 	➔	婦人科健診の周知。契約医療機関、バスでの集団検診を実施できる健診機関を拡充して受診しやすい環境を整える。

2	<ul style="list-style-type: none"> 60歳以上の被保険者の割合が増えている。 平成26年12月末 27年12月末 28年12月末 29年12月末 7.26% 7.53% 8.05% 8.38% 今後も国の定年引上げ、定年再雇用等の対策により60歳以上の被保険者割合は増加すると見込まれる。 	➔	若年時からの疾病予防対策の充実が必要。
3	<ul style="list-style-type: none"> 適用事業所が全国に点在している。 一事業所あたり50人以下の事業所数が約70%を占める。 	➔	保健指導の外部委託、所在地にかかわらず参加可能な体育奨励事業等の検討
4	ハイリスク者への保健指導実施率が19%と低い。	➔	「保健指導あり群」の生活習慣病における医療費は「保健指導なし群」に比べて5万円以上低い。大きな医療費削減効果が期待できるハイリスク群への保健指導を強化する。

保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	<ul style="list-style-type: none"> 特定保健指導、重症化予防対策、その他の保健指導、栄養指導の効果について事業主、被保険者等へのフィードバックが不十分である。 	➔	理事会、組合会、推進委員会に対する報告やホームページ、機関誌を活用した広報の充実

STEP 3 保健事業の実施計画

事業全体の目的

- ・生活習慣病における医療費の伸びを0にする。
- ・ハイリスク未受診者数の増加を0にする。
- ・保健指導実施の案内を受けていない事業所を50%以下とする。
- ・インセンティブ事業の検討を行う。

事業全体の目標

- ・ハイリスク未受診者への書面での受診勧告は100%、保健指導率は19%以上が目標。
- ・H P、機関紙の広報を活用して保健指導未実施の事業所20社に案内を行う。
- ・インセンティブ事業を検討すること。

事業の一覧

職場環境の整備

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	けんぼとあなた
--------	---------

個別の事業

特定健康診査事業	特定健康診査（被保険者・被扶養者）
特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ホームページ
保健指導宣伝	健康保険専門誌
保健指導宣伝	健康関連パンフレット
保健指導宣伝	健康教育講座並びに事務講習会
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品通知
疾病予防	重症化予防対策
疾病予防	保健指導及び栄養指導
疾病予防	事業所訪問
疾病予防	ファミリー健康相談
疾病予防	メンタルヘルスカウンセリング
疾病予防	生活習慣病予防健診 Aコース
疾病予防	生活習慣病予防健診 Bコース
疾病予防	婦人生活習慣病予防健診 Cコース
疾病予防	人間ドック
疾病予防	脳検査
疾病予防	インフルエンザ予防接種
疾病予防	健康管理事業推進委員会
疾病予防	健康優良企業認定の推進
体育奨励	潮干狩り
体育奨励	けんぼウォーキング
体育奨励	スマホウォーキング
体育奨励	野球大会
体育奨励	テニス講習会
体育奨励	フィットネスクラブ
体育奨励	スマホウォーキング大会
その他	契約保養所
その他	大宮運動場

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
職場環境の整備																				
加入者への意識づけ																				
保健指導宣伝	2	既存	けんぼとあな	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ス	年4回の発行(自宅送付)・ホームページにも掲載	ス	配布住所リストにより委託業者に依頼	32,752	32,752	32,752	32,752	32,752	32,752	組合の運営、収支、保健事業、健康情報等の情報提供を行う。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													発行人(年4回)(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)							
個別の事業																				
特定健康診査事業	3	既存(法定)	特定健康診査(被保険者・被扶養者)	全て	男女	40～74	被保険者、被扶養者、任意継続者	1	ウ、ケ	被保険者は生活習慣病予防健診B・Cコース及び人間ドック受診被扶養者、任意継続加入者は受診券の発行	エ、オ、コ	健保連、東振協及び契約医療機関(約200機関)等で実施	162,091	162,091	162,091	162,091	162,091	162,091	特定健診の受診率を上げて健康維持・増進を図る。40歳なった被扶養者の受診率アップ	被扶養者の健診受診率が低い。健診等の関心の低さ、情報提供の不足など考えられる
													・受診券自動送付(前年度受診者) ・年2回機関紙に受診案内(申込書掲載) ・健保連及び市区町村の集合契約医療機関にて実施 ・酒フーズ契約医療機関にて実施 ・契約機関の拡充 ・被扶養者(未受診者)へ健診についてのアンケート実施							
特定保健指導事業	4	既存(法定)	特定保健指導	全て	男女	40～74	基準該当者	1	オ、ク、ケ、コ、シ	自動判定で抽出された特定保健指導対象者の中から、面談効果がより上がるように事業所ごとに対象者を選定する。健診結果を見ながら具体的かつわかりやすい指導を専門職が行う。また、健診時の動線を活用した面談も取り入れてゆく。	ア、イ、キ、コ	事業所ごとの特性から健康課題を分析・把握し、健康課題解決に向けて事業主と連携して保健事業を実施する。	15,120	15,120	15,120	15,120	15,120	15,120	特定保健指導対象者の多い事業所のうち、まだ何うこのできていない事業所や、周り切れていない支社を計画的に組み込むことで利用者数を増やす。また、支援方法の見直しも行い、段階的に実施率を上げてゆく。特定保健指導を利用したことで次の年は対象でなくなった者の割合は20%以上維持を目標とする。	保健指導を実施することができない事業所が多い。
													保健指導が定着している事業所は、特性を見ながら対象者の選定や実施方法を工夫することで指導のマンネリ化を防ぐ。効果の経年比較を事業主に示し継続的な協力を仰ぐ。							
保健指導宣伝	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ア	2月に医療費通知を作成し被保険者の自宅に郵送	ス	-	4,576	4,576	4,576	4,576	4,576	4,576	加入者に対して医療費の関心と健康管理に対する理解をしよう。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													【時期】2月 【送付先】医療費通知を作成し被保険者の自宅に郵送							
医療費通知送付(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)高額/頻回/重複受診の医療抑制効果の検証及び、医療費割合の減少																				
	8	既存	ホームページ	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	組合からのお知らせ等を随時アップする。法改正時に修正を行う。	ス	担当課のみ掲載、修正を行う	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	1,296	加入者の方に健康保険の手続き、健診事業、体育奨励事業などを分かりやすく掲載し、閲覧者数を増やす。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													アクセス数を伸ばすための検討							
ホームページ更新(【実績値】12回 【目標値】平成30年度：12回 令和元年度：12回 令和2年度：12回 令和3年度：12回 令和4年度：12回 令和5年度：12回)年間の閲覧カウントの向上策の検討/導入																				
	8	既存	健康保険専門誌	一部の事業所	男女	15～74	基準該当者	1	ス	健康情報誌ヘルスアップ21を年12回配布	ス	事業所より健康管理委員を選出してもらい、健康管理委員宛に委託業者より送付	3,370	3,370	3,370	3,370	3,370	3,370	事業所の健康管理委員に方に保険、保健制度、健康情報を発信し、加入者の健康管理に役立ててもらう	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)
													健康管理委員を選出していない事業所に委員を選出してもらい、社員の健康管理に役立ててもらう							
健康管理委員に配布(毎月)(【実績値】290部 【目標値】平成30年度：295部 令和元年度：300部 令和2年度：305部 令和3年度：310部 令和4年度：315部 令和5年度：320部)タイムリーな記事の提供																				
	8	既存	健康関連パンフレット	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ス	機関紙の「臨時号」として機関紙と同送する。ポスターは事業所に配布する。	ス	機関紙「臨時号」は委託業者に依頼。ポスターは健保組合より事業所担当者に送付。	9,985	9,985	9,985	9,985	9,985	9,985	健康に関するタイムリーな情報を機関紙「臨時号」やポスターなどを配布し、健康管理意識をもってもらう。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
													タイムリーな情報を加入者、事業所に提供							

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラ クチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連									
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画															
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度								
アウトプット指標												アウトカム指標																
年間の配布回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)タイムリーな記事の提供												-					(アウトカムは設定されていません)											
5	既存	健康教育講座並びに事務講習会	全て	男女	15～74	加入者全員	1	シ	算定事務講習会開催時に合わせて加入事業所に開催通知を送付。	ア	事業所担当者を対象として、事務講習会であれば法改正等を担当職員からの説明。健康教育であれば専門知識人を招いての講座。	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	保険・保健制度の周知と疾病予防	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)				
事業所宛て算定説明会、教育講座開催通知(【実績値】116事業所 【目標値】平成30年度：120事業所 令和元年度：120事業所 令和2年度：120事業所 令和3年度：120事業所 令和4年度：120事業所 令和5年度：120事業所)タイムリーな講演内容												参加者数(【実績値】150人 【目標値】平成30年度：160人 令和元年度：160人 令和2年度：160人 令和3年度：160人 令和4年度：160人 令和5年度：160人)参加者の拡大																
7	既存	ジェネリック医薬品通知	全て	男女	0～74	基準該当者	1	ア	時期を6,10,2月、ジェネリック差額通知書を基準該当者の自宅宛てに送付	ス	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	後発医薬品の促進を図り医療費の削減をする。	・調剤医療費は、総医療費の4分の1を占める割合である。 ・60歳以上の後発医薬品の利用割合が低い。					
ジェネリック医薬品利用利用促進通知送付(年3回)(【実績値】3回 【目標値】平成30年度：3回 令和元年度：3回 令和2年度：3回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 令和5年度：3回)後発医薬品への切り替え促進、周知												ジェネリック医薬品利用率(【実績値】67.22% 【目標値】平成30年度：73.33% 令和元年度：76.66% 令和2年度：80% 令和3年度：80% 令和4年度：80% 令和5年度：80%)後発医薬品利用率の増加																
疾 病 予 防	2,4,6	既存	重症化予防対策	全て	男女	15～74	基準該当者	1	イ,オ,ク,コ	ア,イ,コ	-	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	・生活習慣病関連疾患にかかる入院日数や医療費は、他の疾患に比べて50%以上増加する。 ・入院レセプトが発生した者の前年度の健診データ異常項目はハイリスク者の異常項目と一致する。 ・ハイリスク者にかかる生活習慣病関連疾患医療費は、リスクなし者に比べて38.5倍。 ・ハイリスク者で未受診者が1,049名存在する。 ・ハイリスク者に対する書面での受診勧告後の受診率は一時的に上昇するが継続しない。 ・「保健指導なし群」は「保健指導あり群」に比べて、一人あたりの生活習慣病医療費が5万円以上高い。			
	ハイリスク未受診者受診勧奨通知(【実績値】1,049人 【目標値】平成30年度：2,500人 令和元年度：2,500人 令和2年度：2,500人 令和3年度：2,500人 令和4年度：2,500人 令和5年度：2,500人)・対象者約2,500名に対して書面で受診勧告を行う。												ハイリスク者受診率(【実績値】50% 【目標値】平成30年度：50% 令和元年度：50% 令和2年度：50% 令和3年度：50% 令和4年度：50% 令和5年度：50%)書面での勧告後、受診率が50%増加。															
	ハイリスク保健指導実施率(【実績値】19% 【目標値】平成30年度：19% 令和元年度：19% 令和2年度：19% 令和3年度：19% 令和4年度：19% 令和5年度：19%)・「保健指導なし群」は「保健指導あり群」に比べて一人当たりの生活習慣病医療費が約5万円高い。左記の理由で保健指導実施率の向上を目指す。												ハイリスク者生活習慣病一人当たり医療費の削減(【実績値】50,000円 【目標値】平成30年度：50,000円 令和元年度：50,000円 令和2年度：50,000円 令和3年度：50,000円 令和4年度：50,000円 令和5年度：50,000円)-															
2,4,5,6	既存	保健指導及び栄養指導	全て	男女	15～74	加入者全員	1	イ,オ,ク,ケ,コ,シ	ア,コ	-	実施できていない事業所は継続。マンパワー不足で保健指導が未実施だった事業所に積極的に実施する。主に健診時面談で対応する。健康管理がよい者へのインセンティブ事業も検討したい。	実施できていない事業所は継続。マンパワー不足で保健指導が未実施だった事業所に積極的に実施する。主に健診時面談で対応する。健康管理がよい者へのインセンティブ事業も検討したい。	実施できていない事業所は継続。マンパワー不足で保健指導が未実施だった事業所に積極的に実施する。主に健診時面談で対応する。健康管理がよい者へのインセンティブ事業も検討したい。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	第二期計画の進捗状況を見て策定。	当健保、保健師および管理栄養士が行う保健指導の効果を示すことで、事業主にも協力してもらう。担当者ではなく事業主に案内することで情報提供が確実に行われるよう努める。さらに現在実施している事業所には継続的に関わることで関係性を深め行動変容やメンタル疾患予防の効果を上げる。	保健指導を実施することができない事業所が多い。			
保健指導及び栄養指導実施者数(【実績値】4,882人 【目標値】平成30年度：4,965人 令和元年度：5,048人 令和2年度：5,131人 令和3年度：5,214人 令和4年度：5,297人 令和5年度：5,380人)現在実施している事業所の継続とマンパワー不足で未実施だった事業所に積極的に実施をする。主に健診時面談で対応する。												事業所の保健指導及び栄養指導実施率(【実績値】- 【目標値】平成30年度：56% 令和元年度：56% 令和2年度：56% 令和3年度：56% 令和4年度：56% 令和5年度：56%)実施できていない事業所の継続実施を確保。																
2,4,5,6	新規	事業所訪問	全て	男女	15～74	被保険者	1	イ,オ,ク,コ,シ	ア,コ	-	実施できていない事業所は継続。特に産業医の設置義務もない50名以下の未実施事業所のうち20カ所に個別に事業主宛てに案内を行う。案内は段階的に実施する。反応を見てHP、機関紙での案内も追加。	実施できていない事業所は継続。さらに未実施事業所20カ所に個別の案内を行う。案内は段階的に実施する。反応を見てHP、機関紙での案内も追加。	実施できていない事業所は継続。さらに未実施事業所20カ所に個別の案内を行う。案内は段階的に実施する。反応を見てHP、機関紙での案内も追加。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	第二期前半の進捗状況を見て策定。	健康意識の高い者を肯定するチャンスでもあり、低リスクの者には予防的アプローチを行う。事業主との連携を深めることにより、事業所ごとの特性と課題(健診未実施など)、保健指導の効果を担当者にフィードバックして全体の健康意識の向上を図る。	保健指導を実施することができない事業所が多い。				
新規健診時保健指導実施案内事業所件数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：20件 令和元年度：20件 令和2年度：20件 令和3年度：20件 令和4年度：20件 令和5年度：20件)実施できている事業所は継続。特に産業医の設置義務もない50名以下の未実施事業所120社に個別に事業主宛てに案内を行う。案内は段階的に行う。												新規健診時保健指導実施事業所件数(【実績値】- 【目標値】平成30年度：1件 令和元年度：1件 令和2年度：1件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)新規の試みであり、対象は保健指導未実施事業所のうえ、中には健診未実施の事業所もあるので連携するには困難が予測される。よって件数は低めに設定。																
												6,001					6,001					6,001						

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)						事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
アウトプット指標												アウトカム指標								
6	既存		ファミリー健康相談	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員,その他	1	オ	酒フーズファミリー健康相談専用回線(24時間対応)にて申込	ウ	専門機関に委託し、健康・疾病に対する相談に、保健師、看護師、栄養士などの専門職が対応	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	相談窓口の設置による健康、疾病への対応	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
機関紙等で周知(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)事業内容の周知 365日、24時間対応												年間利用件数(【実績値】3,506件 【目標値】平成30年度：3,000件 令和元年度：3,000件 令和2年度：3,000件 令和3年度：3,000件 令和4年度：3,000件 令和5年度：3,000件)-								
6	既存		メンタルヘルスカウンセリング	全て	男女	0～(上限なし)	加入者全員	1	オ	酒フーズメンタルヘルス・カウンセリング専用回線にて申込	ウ	・専門機関に委託し、メンタルヘルスに関する相談に専門職が対応(電話・面接) ・事業主向け、各種講演・セミナー等実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	機関誌、事業案内、ホームページにて利用案内 専門機関に委託して実施	相談窓口の設置によるメンタルヘルス不調者への対応	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善	
機関紙等で周知(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)事業内容の周知												年間利用件数(【実績値】954件 【目標値】平成30年度：950件 令和元年度：950件 令和2年度：950件 令和3年度：950件 令和4年度：950件 令和5年度：950件)-								
3	既存		生活習慣病予防健診 Aコース	全て	男女	15～34	被保険者	1	ウ,ケ	事業所巡回、契約医療機関、契約機関外(補助金制度)にて実施	オ,ケ,サ	約200の医療機関と契約、その他の医療機関(補助金制度)	76,800 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付 ・契約機関の拡充	76,800 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	76,800 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	76,800 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	76,800 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	76,800 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	35歳未満の若年層の受診率向上により健康に関心をもち、40歳時の生活習慣病のリスク者の減少	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
健診案内送付(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診率の低い事業所に通知等で健診の重要性の理解度を高める。												受診率：前年度増加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：0.2% 令和元年度：0.2% 令和2年度：0.2% 令和3年度：0.3% 令和4年度：0.3% 令和5年度：0.3%)受診率の増加								
3	既存		生活習慣病予防健診 Bコース	全て	男女	35～74	加入者全員	1	ウ,ケ	事業所巡回、契約医療機関、契約機関外(補助金制度)にて実施	オ,ケ,サ	約200の医療機関と契約、その他の医療機関(補助金制度)	204,785 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	204,785 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	204,785 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	204,785 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	204,785 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	204,785 契約医療機関、契約外の医療機関(補助金制度)、健保組合管理センターにて実施 ・生活習慣病予防健診(事業所巡回、健保会館健診)実施要領送付 ・健保組合管理センター直営健診実施案内送付	受診率を上げて健康維持・増進を図る	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
健診案内送付(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診率の低い事業所に通知等で健診の重要性の理解度を高める												受診率：前年度増加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：0.1% 令和元年度：0.2% 令和2年度：0.2% 令和3年度：0.3% 令和4年度：0.3% 令和5年度：0.3%)受診率の増加								
3	既存		婦人生活習慣病予防健診 Cコース	全て	女性	15～74	基準該当者	1	ウ,ケ	契約医療機関、東振協契約機関(事業所一括申込書)、契約機関外(補助金制度)にて実施	オ,ケ,サ	約200の医療機関と契約、その他の医療機関(補助金制度)、東振協と業務委託	156,017 契約医療機関、東振協と委託契約(春・秋)にて実施、契約外の医療機関(補助金制度) ・婦人生活習慣病予防健診実施案内送付 ・被扶養者(未受診者)へ健診についてのアンケート実施 ・健診受診勧奨通知実施(被扶養者) ・	156,017 契約医療機関、東振協と委託契約(春・秋)にて実施、契約外の医療機関(補助金制度) ・婦人生活習慣病予防健診実施案内送付	156,017 契約医療機関、東振協と委託契約(春・秋)にて実施、契約外の医療機関(補助金制度) ・婦人生活習慣病予防健診実施案内送付	156,017 契約医療機関、東振協と委託契約(春・秋)にて実施、契約外の医療機関(補助金制度) ・婦人生活習慣病予防健診実施案内送付	156,017 契約医療機関、東振協と委託契約(春・秋)にて実施、契約外の医療機関(補助金制度) ・婦人生活習慣病予防健診実施案内送付	156,017 契約医療機関、東振協と委託契約(春・秋)にて実施、契約外の医療機関(補助金制度) ・婦人生活習慣病予防健診実施案内送付	レディース健診(乳がん・子宮頸がん検診含む生活習慣病予防健診)の受診環境改善による受診率向上	被扶養者の健診受診率が低い。健診等の関心の低さ、情報提供の不足など考えられる
健診案内送付(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診率の低い事業所には通知等で、被扶養者に対しては機関紙等で健診の重要性の理解度を高める												受診率：前年度増加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：0.2% 令和元年度：0.2% 令和2年度：0.3% 令和3年度：0.2% 令和4年度：0.2% 令和5年度：0.2%)受診率の増加								
3	既存		人間ドック	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ウ,ケ	契約医療機関・健保連契約ドック申込書(健保連ドック利用通知書発行)	オ,ケ,サ	契約医療機関(約180機関)、その他の医療機関(補助金制度)、東振協委託契約機関にて実施	144,385 約医療機関、健保連契約機関等にて実施 契約外の医療機関(補助金制度) ・契約機関の拡充	144,385 契約医療機関、健保連契約機関等にて実施 契約外の医療機関(補助金制度)	144,385 契約医療機関、健保連契約機関等にて実施 契約外の医療機関(補助金制度)	144,385 契約医療機関、健保連契約機関等にて実施 契約外の医療機関(補助金制度)	144,385 契約医療機関、健保連契約機関等にて実施 契約外の医療機関(補助金制度)	144,385 契約医療機関、健保連契約機関等にて実施 契約外の医療機関(補助金制度)	より精細な健康診断実施による疾病の早期発見・早期治療	新生物、循環器系疾患、消化器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、腎尿路生殖器系疾患にかかる総医療費、一人あたり医療費がともに高い。
健診案内送付率(【実績値】100% 【目標値】平成30年度：100% 令和元年度：100% 令和2年度：100% 令和3年度：100% 令和4年度：100% 令和5年度：100%)受診率の低い事業所に通知等で健診の重要性の理解度を高める												人間ドック受診率：前年度増加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：0.1% 令和元年度：0.1% 令和2年度：0.1% 令和3年度：0.1% 令和4年度：0.1% 令和5年度：0.1%)受診率の増加								
													21	21	21	21	21	21		

予算科目	注1)事業分類	新規既存	事業名	対象者				注2)実施主体	注3)プロセス分類	実施方法	注4)ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連
				対象事業所	性別	年齢	対象者						実施計画						
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
アウトプット指標												アウトカム指標							

3	既存	脳検査	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ウ	酒フーズ健保ホームページよりリンク先(東振協)からWeb申込み	ク	東振協と業務委託契約により東振協の契約機関にて実施	東振協委託契約機関にて実施 事業内容の周知、利用者増加のための方策の検討	東振協委託契約機関にて実施	東振協委託契約機関にて実施	東振協委託契約機関にて実施	東振協委託契約機関にて実施	東振協委託契約機関にて実施	検査の実施により疾病の早期発見・早期治療	新生物、循環器系疾患、消化器系疾患、内分泌・栄養・代謝疾患、腎尿路生殖器系疾患にかかる総医療費、一人あたり医療費がともに高い。 自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
---	----	-----	----	----	-------	-------	---	---	---------------------------------	---	---------------------------	---	---------------	---------------	---------------	---------------	---------------	----------------------	--

機関紙配布にて利用案内周知(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)-
利用率：前年度増加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：1.1% 令和元年度：1.1% 令和2年度：1.1% 令和3年度：1.2% 令和4年度：1.2% 令和5年度：1.2%)利用者数の増加

3	既存	インフルエンザ予防接種	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ケ	酒フーズ健保ホームページよりリンク先(東振協)からWeb申込み	ク	東振協と業務委託契約により東振協の契約機関にて実施	東振協委託契約機関にて実施 院内、出張接種 事業内容の周知、利用者増加のための方策の検討	東振協委託契約機関にて実施 院内、出張接種	東振協委託契約機関にて実施 院内、出張接種	東振協委託契約機関にて実施 院内、出張接種	東振協委託契約機関にて実施 院内、出張接種	東振協委託契約機関にて実施 院内、出張接種	インフルエンザの予防による医療費の抑制	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
---	----	-------------	----	----	------	-------	---	---	---------------------------------	---	---------------------------	--	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	--------------------------	---------------------	---------------------------------

実施案内送付(【実績値】1回 【目標値】平成30年度：1回 令和元年度：1回 令和2年度：1回 令和3年度：1回 令和4年度：1回 令和5年度：1回)事業内容の周知、利用者増加のための方策の検討
利用率：前年度増加率(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：1.05% 令和元年度：1.05% 令和2年度：1.05% 令和3年度：1.1% 令和4年度：1.1% 令和5年度：1.1%)利用者数の増加

1,5	既存	健康管理事業推進委員会	一部の事業所	男女	15～74	被保険者	1	キ,ケ,シ	保健事業の進捗状況と効果、事業所側からの意見の徴収。7月と11月に開催。	ア,シ	-	特定保健指導、重症化予防対策、その他保健指導および栄養指導についての進捗状況と成果を報告。保健事業の方向性についてのトピックスがあればその都度説明。事業所側からの意見が出るよう促す。	特定保健指導、重症化予防対策、その他保健指導および栄養指導についての進捗状況と成果を報告。保健事業の方向性についてのトピックスがあればその都度説明。事業所側からの意見が出るよう促す。	特定保健指導、重症化予防対策、その他保健指導および栄養指導についての進捗状況と成果を報告。保健事業の方向性についてのトピックスがあればその都度説明。事業所側からの意見が出るよう促す。	第二期の進捗状況を見て策定。	第二期の進捗状況を見て策定。	第二期の進捗状況を見て策定。	推進委員を担う健康意識の高い事業所にアナウンスを行うことによって、閾値の伸長を図る。事業所側の意見を聴くことで保健事業の需要と可能性をキャッチする。	・生活習慣病関連疾患にかかる入院日数や医療費は、他の疾患に比べて50%以上増加する。 ・入院レセプトが発生した者の前年度の健診データ異常項目はハイリスク者の異常項目と一致する。 保健指導を実施することができない事業所が多い。
-----	----	-------------	--------	----	-------	------	---	-------	--------------------------------------	-----	---	---	---	---	----------------	----------------	----------------	--	--

年間の実施回数(【実績値】2回 【目標値】平成30年度：2回 令和元年度：2回 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 令和5年度：2回)特定保健指導実施率、重症化予防対策、その他保健指導についての進捗状況を説明。
事業所側からの意見の数(【実績値】1件 【目標値】平成30年度：1件 令和元年度：1件 令和2年度：1件 令和3年度：1件 令和4年度：1件 令和5年度：1件)重症化予防対策の重要性を説明したところ、特定保健対象者のみを行っていた事業所から要望があり対象が拡大した。事業所側からの意見を得やすい場の提供に努める。

1	既存	健康優良企業認定の推進	全て	男女	15～74	被保険者,被扶養者	3	シ	事業所より健康企業宣言の宣言をする	ア	健康企業宣言を健保組合がサポートする	健康企業宣言について広報・ホームページで事業所に周知する	健康企業宣言について広報・ホームページで事業所に周知する	健康企業宣言について広報・ホームページで事業所に周知する	健康企業宣言について広報・ホームページで事業所に周知する	健康企業宣言について広報・ホームページで事業所に周知する	健康企業宣言について広報・ホームページで事業所に周知する	健康企業宣言することにより、企業全体で健康づくりをすることで、リスクの低減が期待できる	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
---	----	-------------	----	----	-------	-----------	---	---	-------------------	---	--------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	------------------------------	---	---------------------------------

参加企業数(【実績値】3件 【目標値】平成30年度：3件 令和元年度：3件 令和2年度：3件 令和3年度：3件 令和4年度：3件 令和5年度：3件)健康企業宣言し、認定されることにより企業のイメージアップにつながる
(アウトカムは設定されていません)

5	既存	潮干狩り	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	ス	-	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	千葉県木更津市木更津海岸中の島公園にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	自然に触れ合いリフレッシュすることで、心身を健康に保ちストレスを解消する。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
---	----	------	----	----	------	-------	---	---	--------------------------------------	---	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------------	---------------------------------

機関誌等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-
参加者数(【実績値】720人 【目標値】平成30年度：1,500人 令和元年度：1,500人 令和2年度：1,500人 令和3年度：1,500人 令和4年度：1,500人 令和5年度：1,500人)-

5,8	既存	けんぼウォーキング	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	ス	-	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	東京都八王子市高尾山にて、被保険者、被扶養者を対象に実施。	ウォーキングイベントをきっかけに運動習慣の意識付けをし健康の維持、増進をはかる。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
-----	----	-----------	----	----	------	-------	---	---	-------------------------------	---	---	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--	---------------------------------

機関誌等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-
参加者数(【実績値】436人 【目標値】平成30年度：850人 令和元年度：850人 令和2年度：850人 令和3年度：850人 令和4年度：850人 令和5年度：850人)-

5	既存	スマホウォーキング	全て	男女	15～74	被保険者,被扶養者	1	ス	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	ス	健康管理サイト運営会社と法人契約を結ぶ。	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	健康管理サイト運営会社と法人契約を結び、被保険者、被扶養配偶者を対象に登録してもらい健康管理に活用してもらう。	健康管理サイトに登録することで歩数カウントのほか体重や血圧等が入力でき、日々の健康状態を確認しながらウォーキングを習慣づけてもらい、健康意識を高めてもらう。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
---	----	-----------	----	----	-------	-----------	---	---	---	---	----------------------	---	---	---	---	---	---	--	---------------------------------

機関誌等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-
参加者数(【実績値】235人 【目標値】平成30年度：2,000人 令和元年度：2,000人 令和2年度：2,000人 令和3年度：2,000人 令和4年度：2,000人 令和5年度：2,000人)登録するのに多少手間がかかるため利用者数が伸びない。

5	既存	野球大会	全て	男女	15～74	被保険者	1	ス	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	ス	-	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	当組合大宮運動場にて、1部、2部チームごとにトーナメント方式により実施。	より多くのチーム(事業所)に参加していただき、運動意欲の向上を図るとともに他のチームとの親睦を深める。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
---	----	------	----	----	-------	------	---	---	--------------------------------------	---	---	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	--------------------------------------	---	---------------------------------

予 算 科 目	注1) 事業 分類	新 規 既 存	事業名	対象者				注2) 実施 主体	注3) プロセス 分類	実施方法	注4) ストラ クチャー 分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象 事業所	性別	年齢	対象者						実施計画							
													平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度			令和5年度
アウトプット指標												アウトカム指標								
機関連等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-												参加チーム数(【実績値】38チーム 【目標値】平成30年度：50チーム 令和元年度：50チーム 令和2年度：50チーム 令和3年度：50チーム 令和4年度：50チーム 令和5年度：50チーム)-								
5	既存		テニス講習会	全て	男女	13 ～ 74	被保険 者,被扶 養者	1	ス	当組合大宮運動場にて、被保険者、被扶養者を対象に、プロ、アシスタントコーチにより硬式テニスの基本、実戦練習を実施。	ス	プロ、アシスタントコー チへ講習を依頼。	1,074	1,074	1,074	1,074	1,074	1,074	より多くの方に参加していただき、運動意欲の向上を図るとともに他の参加者との親睦を深める。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
機関連等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-												参加者数(【実績値】 - 【目標値】平成30年度：150人 令和元年度：150人 令和2年度：150人 令和3年度：150人 令和4年度：150人 令和5年度：150人)平成29年度雨天中止								
5	既存		フィットネス クラブ	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	対象者が希望のルネサンス店舗へ入会手続きを行い利用する。	ス	株式会社ルネサンスと法人 会員契約を結ぶ。	0	0	0	0	0	0	生活習慣病予防、ストレス解消、体力向上のためにより多くの方に利用してもらう。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
機関連等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-												利用者延べ人数(【実績値】7,705人 【目標値】平成30年度：8,000人 令和元年度：8,500人 令和2年度：9,000人 令和3年度：9,500人 令和4年度：10,000人 令和5年度：10,000人)-								
5	既存		スマホウォー キング大会	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	1～2ヶ月の期間を設けチームごとに歩数を競うウォーキング大会を実施。	ス	健康管理サイト運営会社 と法人契約をしているので、そのシステムを利用。	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	1,080	チーム内でコミュニケーションを取りながら運動意欲を高め、ウォーキングを習慣づけることにより生活習慣病予防や体力向上を図る。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
機関連等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-												参加人数(【実績値】121人 【目標値】平成30年度：1,500人 令和元年度：1,500人 令和2年度：1,500人 令和3年度：1,500人 令和4年度：1,500人 令和5年度：1,500人)-								
その他	5	既存	契約保養所	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	法人会員制ホテル「ラフォーレ倶楽部」と契約を結ぶ。	ス	-	7,344	7,344	7,344	7,344	7,344	7,344	日々の疲れを癒し心身ともに健やかに保ち明日への活力としてもらう。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
機関連等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-												利用者数(【実績値】481人 【目標値】平成30年度：800人 令和元年度：800人 令和2年度：800人 令和3年度：800人 令和4年度：800人 令和5年度：800人)-								
5	既存		大宮運動場	全て	男女	0 ～ 74	加入者 全員	1	ス	野球場4面、テニスコート11面、多目的広場を被保険者または一般に貸し出し。	ス	-	23,592	23,592	23,592	23,592	23,592	23,592	運動することを習慣づけ健康意欲を高め、生活習慣病予防、ストレス解消、体力向上のために利用してもらう。	自身の健康状況の理解、生活習慣改善の認識、食生活や運動習慣改善
機関連等で周知(【実績値】4回 【目標値】平成30年度：4回 令和元年度：4回 令和2年度：4回 令和3年度：4回 令和4年度：4回 令和5年度：4回)-												利用者数(【実績値】11,336人 【目標値】平成30年度：11,500人 令和元年度：11,500人 令和2年度：11,500人 令和3年度：11,500人 令和4年度：11,500人 令和5年度：11,500人)-								

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業

注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用(情報作成又は情報提供でのICT活用など) オ. 専門職による対面での健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施
キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 シ. 事業主と健康課題を共有 ス. その他

注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 専門職との連携体制の構築(産業医・産業保健師を除く) エ. 他の保険者との共同事業 オ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 カ. 自治体との連携体制の構築 キ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 ク. 保険者協議会との連携体制の構築
ケ. その他の団体との連携体制の構築 コ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) サ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) シ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) ス. その他